

## 山东省与JICA《中国控制脊灰对策项目》 合作进展情况

山东省卫生厅

### 一、背景

山东省位于黄河下游，地处东部沿海，西接河北、河南，南邻安徽、江苏。总面积15.67万平方公里，其中平原占55%，丘陵占14.9%，山地占20%，洼地、湖泊占10.1%。目前，全省辖17个市(地)，135个县(市、区)，2655个乡(镇)，89393个行政村(居委会)。据1992年统计，全省总人口为8760万，居全国第三位。

从历史资料来看，山东省是中国脊髓灰质炎(以下简称脊灰)的高发省份之一。自实施儿童EPI活动以来，脊灰疫情得到了一定的控制。但在1988年，局部地区发生脊灰暴发，全省年发病223例；1989年和1990年，全省疫情仍呈上升趋势，年发病数分别为484例和284例。

1990年4月，以千叶靖男博士为团长的日本国际协力事业团(JICA)考察团首次来我省进行考察访问。同年6月，再次对我省进行考察，并就消灭脊灰合作问题，初步进行了协商。

自1990年12月，经卫生部批准，我省与JICA在消灭脊灰方面进行技术合作以来。JICA派出两名监测方面的专家长期驻我省，根据工作需要还临时派出临床神经内科学、病毒学方面的短期专家协助指导工作，提供有关的仪器设备。这一技术合作，对山东省消灭脊灰工作起到了巨大的作用。

### 二、合作进展

1、成立了山东省消灭脊灰领导小组，制定全省消灭脊灰行动计划并组织实施。

2、广泛进行社会动员：开展合作项目以来，省政府及卫生主管部门的领导强化了对消灭脊灰工作的领导，把消灭脊灰作为整个卫生工作的首要任务来抓。在经费紧张的情况下，省政府保证了消灭脊灰工作需要的数百万元疫苗经费；今年10月份，吴爱英副省长在有关会议上就消灭脊灰工作进行了专题讲话；省卫生厅的有关领导也十分支持消灭脊灰工作，并亲自参加有关活动。

3、成立了由省卫生厅、省卫生防疫站、JICA专家和有关人员共同组成的山东省脊灰监测中心，具体负责全省消灭脊灰活动的组织和实施工作。

4、建立和完善了全省脊灰疫情监测与报告系统。今年，针对医院对AFP病例报告工作认识不足的现状，省卫生厅下发了《关于加强脊髓灰质炎疫情监测和报告工作的通知》，并开始实行AFP病例报告有奖制度，这对提高我省AFP病例监测和报告的灵敏性，起到了很大的作用。1993年1~10月，全省共报告AFP病例179例，较1992年同期相比，报告病例数提高了51.2%，医院及时报告率提高了32.7%。

5、继续开展全省OPV强化免疫活动。1991年1月，在JICA长期专家的建议下，首次开展了全省范围的OPV强化免疫活动。截止目前，共进行了三次六轮OPV强化免疫，OPV投放达3500万人份。1993~1994年度的强化免疫工作，我省已根据全国强化免疫日活动实施方案的要求，进行统一部署，目前各项准备工作正在有计划地进行中。

6、加强巡回监测。1992年11月至今，JICA专家及省脊灰

监测小组共对14个市地、30个县(市、区)进行了巡回监测。根据医院AFP病例报告工作仍不完善的情况,今年还重点对医院AFP病例报告情况进行了调查。省监测小组在巡回监测中,共对43处县级以上医院进行了监测,发现1993年漏报的AFP病例31例,并分别就消灭脊灰活动的工作要求,对有关的医务工作人员进行了短期培训,从而大大促进了这些医院对AFP病例报告工作。

7、开展AFP病例基础发病率调查。继1992年对济南市6所大医院1991年就诊的AFP病例调查基础上,1993年把调查范围又扩大到所有市地以上医院;针对格林巴利综合征(GBS)基础发病率不清和漏报率高的问题,又进行了1987~1992年县级以上医院就诊GBS病例情况调查,为评价我省AFP监测系统敏感性提供了依据,并强化了医院对AFP病例报告的意识。

8、加强业务培训。1991和1992年,举办了4期由EPI工作人员参加的消灭脊灰技术培训班,共培训约500人次。1993年4月,我省又举办了由各市(地)卫生局防疫科科长、防疫站EPI科长、医院脊灰疫情报告员和临床医师参加的技术培训班,这对加强防疫站与医院的合作,共同做好AFP病例的监测和报告工作以及提高对脊灰病例的临床诊断及鉴别能力起到了较大的促进作用。今年11月4~6日,我们又召开了《全省消灭脊灰工作会议》主要针对今冬明春的强化免疫活动和消灭脊灰所存在的问题进行了专题培训。

9、加强联防协作。经卫生部批准,1992年建立冀、豫、鲁、皖、苏五省联防协作区,并确定在山东省设立联络处,负责编印五省脊灰联防工作简报,以加强五省消灭脊灰工作的业务交流。今年8月和10月,由JICA专家建议下,经卫生部批准,

成功组织了安徽与山东和河南与山东两次省际邻界地区联合监测活动，两省工作人员互相学习交流经验，探讨解决工作中存在的问题的办法。

10、加强AFP病例综合诊断。在JICA专家指导下，我们对全省报告的AFP病例进行最终诊断，1993年省监测中心已对151例AFP病例进行了诊断，提高了病例诊断的可靠性。

11、加强主动监测。1992年7月，我省提出各级防疫站加强AFP病例的主动监测工作。据统计我省有70%以上的县区开展了每月至少3次的主动监测活动，作为监督医院AFP病例报告的日常工作，1992年有25例AFP病例是主动监测过程中发现的，1993年全省各级防疫部门主动监测发现了67例医院未报告的AFP病例，并对这些病例及时进行了调查和随访。

12、加强标本采集和实验室工作。1993年报告的AFP病例中，粪便标本采集率达79.1%，较1992年73.1%有所提高，尤其是麻痹两周内标本采集率已达67.9%，较1992年(47.7%)明显提高，双份大便采集率也达到78.1%。另外还采集了37例病人的164名密切接触者便标本。1993年，JICA两名短期专家来我省指导实验室工作，今年省实验室能在接到标本两周内进行病毒分离的已占80.1%，实验周期大大缩短。

经过双方3年的努力，消灭脊灰的合作取得了成功，脊灰的发病率逐年下降，消灭脊灰的整体工作也取得了明显的改善。1991年全省报告AFP病例231例，确诊脊灰95例；1992年报告AFP病例130例，确诊脊灰25例；1993年1~10月共报告AFP病例179例，确诊脊灰14例。

### 三、存在问题和困难

- 1、全省工作发展不平衡，还存在有薄弱地区，主要是接种率低，尤其是流动人口儿童建卡率低，常规免疫和强化免疫还有漏洞；监测系统不够灵敏，疫情报告不完善；基础资料不完整，准确性差；基层工作人员特别是乡村医生缺乏工作责任心；
- 2、基层工作人员尤其是乡村级人员仍缺乏必要的技术培训；
- 3、信息交流和疫情反馈不够及时；
- 4、宣传工作不够普及、深入；
- 5、脊灰病例的临床诊断和实验室水平还不够高；
- 6、卫生资源不足，尤其是县级防疫站缺少用于监测的交通工具、宣传培训设备和经费等。

#### 四、今后合作的希望

山东省是全国消灭脊灰的重点省份之一，也是冀、豫、鲁、皖、苏五省脊灰联防区的核心。在卫生部和省政府的领导下，在JICA专家悉心指导下，山东省消灭脊灰工作取得了长足的进展，脊灰发病已降至历史最低水平，已进入了消灭脊灰的后期阶段。但是，要最终达到消灭脊灰的目标，我们仍面临着时间紧迫、任务艰巨的局面。因此，作为本合作项目的一方，我们将克服一切困难，努力解决目前尚存在的一些问题，确保双方合作的顺利进行。同时，我们也真诚地希望进一步扩大同JICA在消灭脊灰方面的技术合作，特别是在进入消灭脊灰的后期阶段，双方有必要认真分析一下当前的形势，进一步完善消灭脊灰的策略，制定出适合山东省消灭脊灰有力措施，以加强各项工作的开展，最终达到消灭脊灰的目标。

最后，向支持山东省消灭脊灰活动的JICA及其各位专家和工作人员表示衷心的感谢！

1993年11月18日

## 山東省とJICA「中国ポリオ対策プロジェクト」との協力進捗状況

### 山東省衛生庁

#### 1. 背景

山東省は黄河の下流に位置し、中国東部沿岸にあり、西側に華北、河南省に接し、南側に安徽、江蘇省に隣接する。総面積は15.67平方キロメートルで、平野はそのうちの55%を占め、丘陵14.9%、山地20%、湿地・湖沼10.1%である。

全省には17の市(地)、135の県(市、区)、1655の郷(鎮)、89393の行政村(居民委員会)からなっている。

歴史資料によると、山東省は全国でもポリオの多発省のひとつである。児童EPI活動を実施して以来、ポリオの疫情はある程度コントロールされたが、1988年局部地域でポリオの流行が再発し、全省の発病例数は223例となり、1989、1990年にも依然上昇傾向を示し、発病例数は484、284となっていた。

1990年4月、千葉靖男博士を団長とする日本国際協力事業団(JICA)の調査団が初めて我が省を視察・訪問し、同年6月に再度我が省に対し調査を行い、ポリオ根絶協力計画について事前協議を行った。

1990年12月から、衛生部の批准を経て、我が省とJICAとのポリオ根絶技術協力計画の実施が始まり、JICAから2名のサーベイランス担当専門家が派遣され我が省に長期駐在し、また、必要に応じて臨床神経内科、ウイルス学関係の短期専門家を派遣して指導協力業務に当たるほか、業務の実施に必要な関係機材を供与した。この技術協力プロジェクトは、山東省におけるポリオ根絶の推進に大きな役割を果たしている。

#### 2. 業務推進状況

1) 山東省ポリオ根絶指導グループを組織し、全省ポリオ根絶実施計画を策定し、それを組織化して実施した。

2) 広範囲な社会動員を発動した。

技術協力プロジェクト発足したあと、省政府及び衛生主管機関がポリオ根絶業務に対して指導を強化し、それを衛生保健分野の最重要業務として位置付け、予算緊迫の状況のもとで省政府は、計画の実施に必要な数百万元のワクチン購入費を確保した。今年の10月、呉愛英副省長が関係会議の席上でポリオ根絶業務の推進について指示を下した。省衛生庁の指導者も積極的にポリオ根絶業務に支持し、自らその活動に参加した。

3) 省衛生庁、省衛生防疫站、JICA 専門家及び関係者による山東省ポリオサーベイランスセンター

を創り、全省のポリオ根絶活動の組み立て及びその実施について具体的な責任を負うことにした。

4) 全省ポリオサーベイランスと疫情報告のシステムを整備した。

今年から省衛生庁が「ポリオの疫状の監視・報告業務の強化に関する通知」を発し、なおAFP病例報告症例制度の実施を開始した。それらの措置が我が省のサーベイランス・疫情報告の敏速性の改善に大きな役割が果たしている。1993年1～10月に、全省179例のAFP症例数が報告され、1992年同期に比較すると報告病例数が51.2%高まった。病院からの報告率は32.7%高まった。

5) 継続的にOPV投与強化活動の組織と実施

1991年1月、JICA長期専門家の提言を受け、初めて全省範囲でのOPV投与を実施した。いまままで、全部で3回計6サイクルのOPV投与を実施した。OPVの投与数は3500万人分に達した。

1993～1994年度のOPV投与業務について我が省は、全国一斉投与実施計画に沿って各方面の準備を計画どおり進めている。

6) 巡回サーベイランスの強化。

1992年11月から今まで、JICA専門家及び省のポリオ監視チームは、計14の市・地、30の県(市、区)に巡回サーベイランスを実施した。また、病院からのAFP病例報告が依然不徹底であることから、今年重点的に病院側のAFP病例報告の状況について調査を行った。省のポリオ監視チームが43ヶ所の県レベル以上の病院に対して調査の結果では、1993年に計31件のAFP病例報告漏れを指摘したことから、関係する医務担当者に対して短期訓練教育を実施し、これらの病院でのAFP病例報告業務の推進を図った。

7) AFP基礎発病率の調査実施

1992年済南市内6ヶ所の大型病院のAFP受診病例調査の結果を踏まえ、1993年には、その調査範囲をさらに市・地以上の病院まで拡大した。また、GBS基礎発病率の不明と病例報告漏れ数が高いという問題を究明するために、さらに1987～1992年の期間中に県レベル以上の病院でのGBS受診病例に対して調査を行った。それによって我が省のAFPサーベイランスの敏速性を評価するための裏付けを提供するとともに、病院側のAFP病例報告意識が高められた。

8) トレーニングの実施強化

1991と1992年において、EPI業務担当者を召集し計4期のポリオ根絶技術訓練班を開催した。合わせて約500人次の訓練を実施した。1993年4月我が省は、さらに各市(地)衛生局防疫科長、防疫站EPI科長、病院のポリオ疫情報告員及び臨床医師を召集して技術訓練班を開催した。それらの活動によって防疫站と病院側との連携を強め、共同でAFPサーベイランス及び病例報告の徹底、またはAFP臨床診断技術のレベルアップを促進した。今年の11月



4～6日、我々はさらに「全省ポリオ撲滅業務会議」を開催し、今年の冬から来年の春にかけてのワクチン投与強化業務とポリオ撲滅にかかる諸問題の対応についてのトレーニングを実施した。

#### 9) 連防体制の強化

衛生部の批准を経て、1992年に河北（冀）、河南（豫）、山東（魯）、安徽（皖）、江蘇（蘇）5省による「連合予防合作区」を作り上げた。なお、山東省に連絡所を置くこととし、5省ポリオ連防簡報の編集発行を行い、5省のポリオ根絶業務交流の強化を図ってきた。今年の8月と10月、JICA専門家の提言の下で、衛生部の批准を経てから、安徽省と山東省、河南省と山東省の隣接地域連合サーベイランスを2回分けて実施し成功した。この活動に通じて両省の担当者が、情報を交換し合い、問題点の解決法などについて検討を行った。

#### 10) AFP診断の強化

JICA専門家の指導の下で、我々は全省報告のAFP病例に対し最終診断を行い、1993年省のサーベイランスセンターが、すでに151例のAFP病例に対し診断を行い、診断の確実性を高めた。

#### 11) 巡回サーベイランスの強化

1992年7月、我が省は、各防疫站レベルでのAFP病例巡回サーベイランス業務強化を指示した。統計によると我が省の70%以上の県・区の防疫站は、病院ルートからのAFP病例報告をチェックするために、ルーチンワークとして月に少なくとも3回の巡回サーベイランスを実施した。1992年には、25例のAFP病例を巡回サーベイランスで発見され、1993年にも全省各レベル防疫機関巡回サーベイランスの実施によって67例の病院未報告AFP病例を発見し、患者への症例調査を遅延なく行った。

#### 12) 検体採集と実験室業務の強化

1993年報告のAFP病例の中、糞便検体の採集率がすでに79.1%に達しており、1992年の73.1%より若干高めたが、特にマヒ発生2週間以内の検体採集率はすでに67.9%に達し、1992年（47.7%）よりはるかに向上し、検体の2回採集率も78.1%に達した。そのほか37病例の計164名の患者密接接触者の糞便検体を採集した。1993年、JICA短期専門家2名が来省し実験室業務の技術指導を行った。今年から省の実験室は、検体を受けてから2週間以内にウイルス分離できたのが80.1%に達し、検査周期が大幅に短縮した。3年間、双方の努力によってポリオ撲滅の技術協力は、成功しつつあり、ポリオの発病率は、年ごとに減少しており、ポリオ根絶の業務システムも大幅に改善された。1991年全省AFP病例報告数231例に対して、ポリオ診断例95例であり、1992年AFP病例報告130例で確診25例であり、1993年1～10月AFP病例報告179例で確診14例であった。

### 3. 現存する問題点及び困難

#### 1) 全省の業務進度の不均衡

業務不徹底地区があり、主に接種率が低く、特に流動人口（児童）のカード登録率が低く、一般免疫及び強化免疫措置が不十分である。サーベイランスシステムが機敏性に欠け、疫情報告が不十分、基礎資料が不完全で不正確、末端組織の業務人員、特に村医師の責任感不足であること。

- 2) 末端組織の業務人員、特に郷・村レベルの人員に必要な技術訓練が不足であること。
  - 3) 情報の伝達及び疫情のフィードバックが遅いこと。
  - 4) 宣伝活動が行きわたらないこと。
  - 5) ポリオの臨床診断、または実験室の業務レベルの低いこと。
  - 6) 衛生資源不足、特に県レベルの防疫站にはサーベイランスに使う交通手段と宣伝、トレーニング用の設備、経費について。
4. 今後の協力についての要望

山東省は、全国のポリオ根絶の重点省ひとつであると同時に、河北・河南・山東・安徽・江蘇5省ポリオ連合予防区の中核でもある。衛生部及び省政府、またはJICA専門家の指導の下で、山東省のポリオ根絶業務は大きく推進してきたが、ポリオの発病率は史上最低レベルに達しており、すでにポリオ根絶の最終段階に進んできたところである。

しかし、最終的にポリオ根絶の目標を達成するには、我々は時間が少なく、任務は重いという現実に直面している。本プロジェクトの一員として我々は、すべての困難を克服して、プロジェクトを成功させるため、目前にある諸問題の解決に努力していきたい。

同時に、さらに一歩進んで、JICAとポリオ根絶分野での技術協力を拡大したい。特にポリオ根絶の最終段階に入った現在において、双方は真剣的に目前の情勢を分析し、ポリオ根絶の計画をさらに完成させ、山東省に適した協力的な措置を策定し、各項目での業務強化に資して、ポリオ根絶という最終目標を達成させる。

最後に、山東省のポリオ根絶計画に協力して下さったJICA及び専門家の方々、またはその業務に携わって下さる関係者の方々に心から最敬意を申し上げたい。

1993年11月18日

プロジェクト関連5省の位置

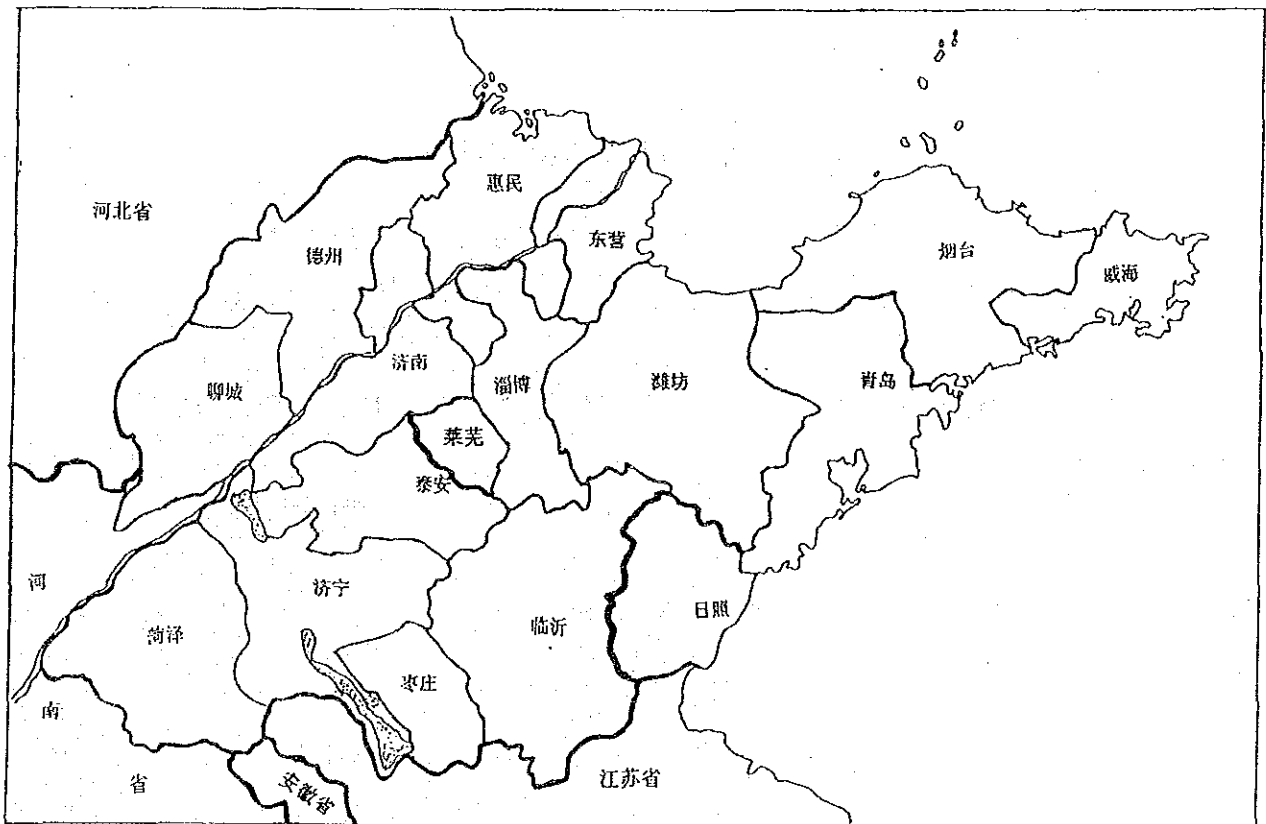
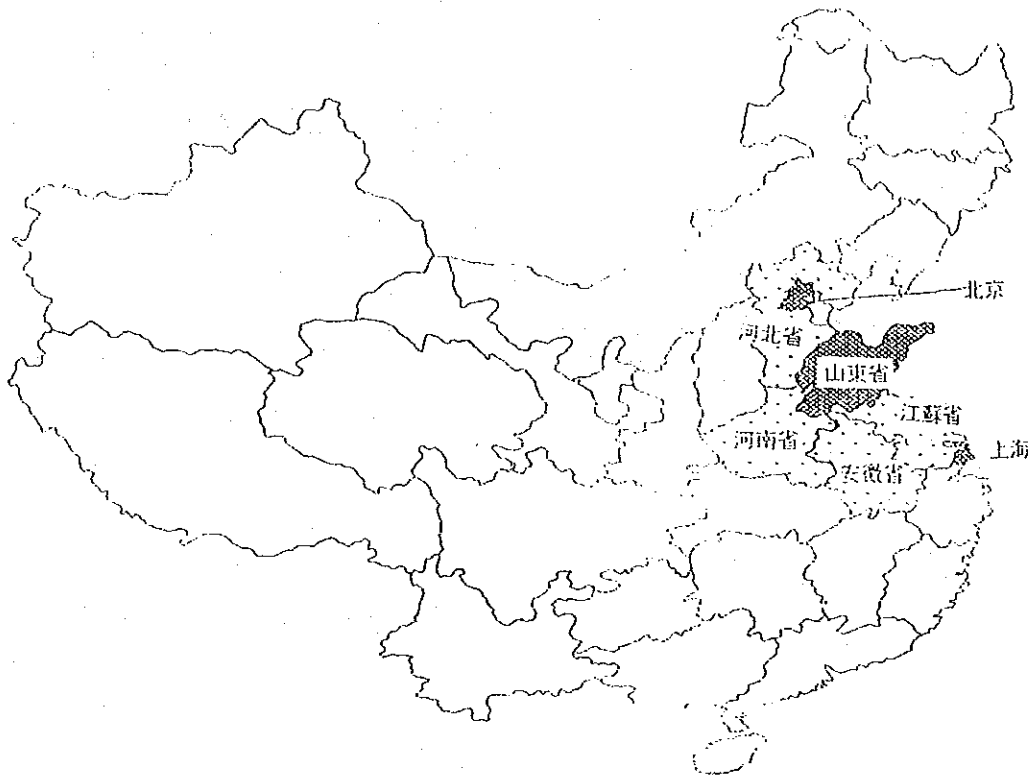
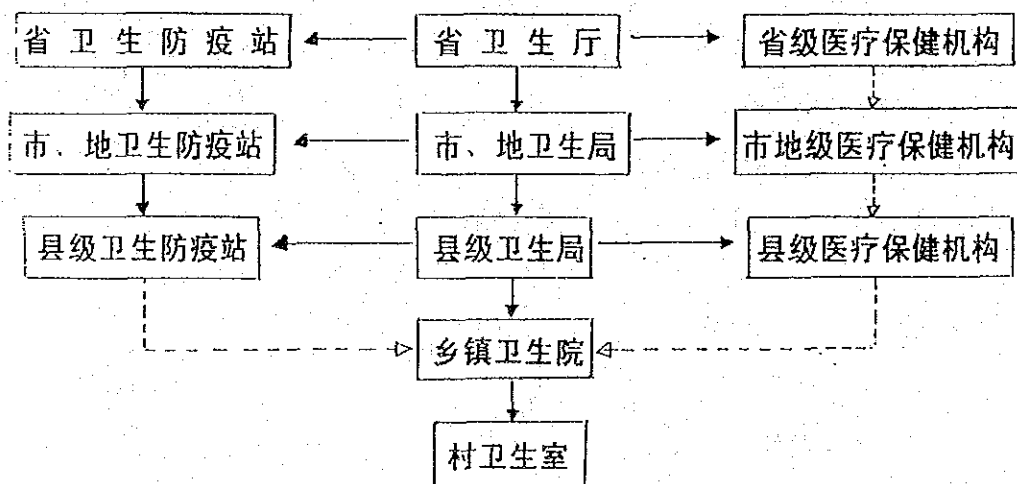


表1 山东省基本情况

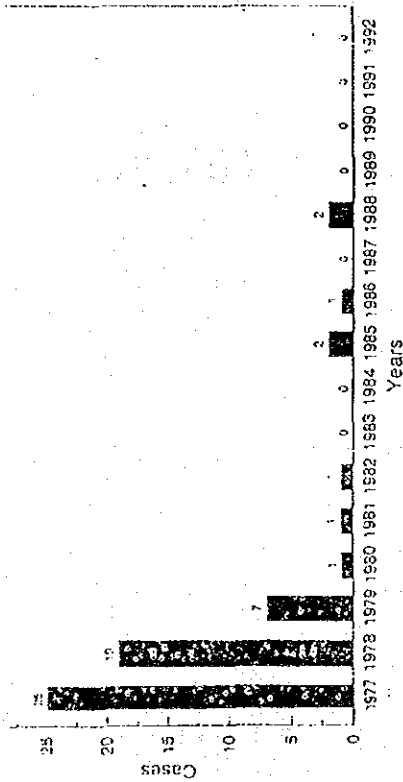
地形分布	平原 (55%)、山地 (20%)、丘陵 (14.9%) 洼地 (9%)、湖泊 (1.1%)
行政区划	市地 (17)、县市区 (135) 乡镇 (2655)、村 (89393)
总人口	8160万 (居全国第三位)

### 山东省卫生系统图

Medical and Health Organizations, Shandong Province

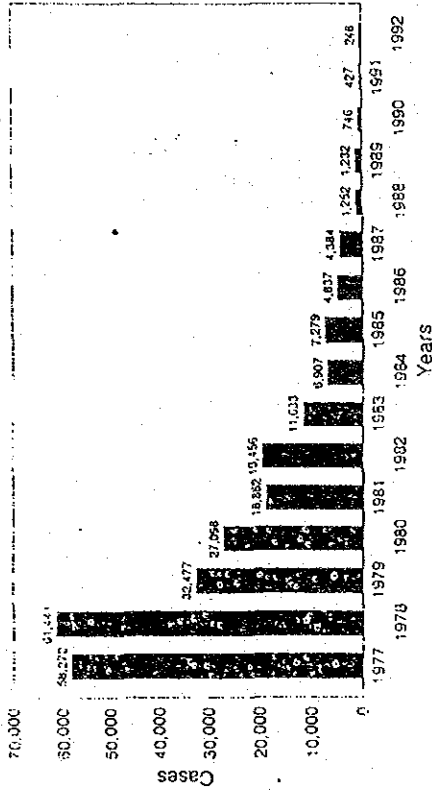


DIPHTHERIS IN SHANDONG PROVINCE  
1977-1992



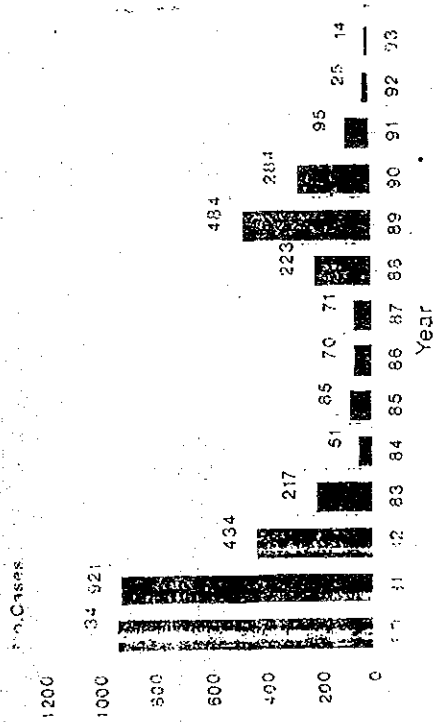
NO. 2

PERTUSSIS IN SHANDONG PROVINCE  
1977-1992



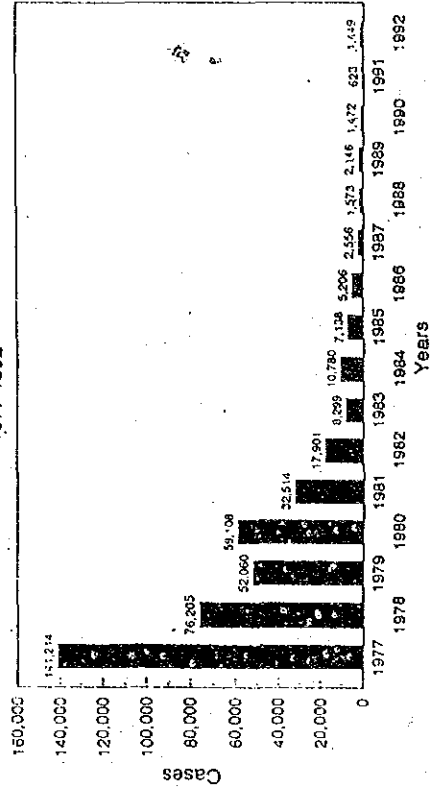
NO. 3

POLIO CASES BY YEAR  
Shandong 1980-1993.10

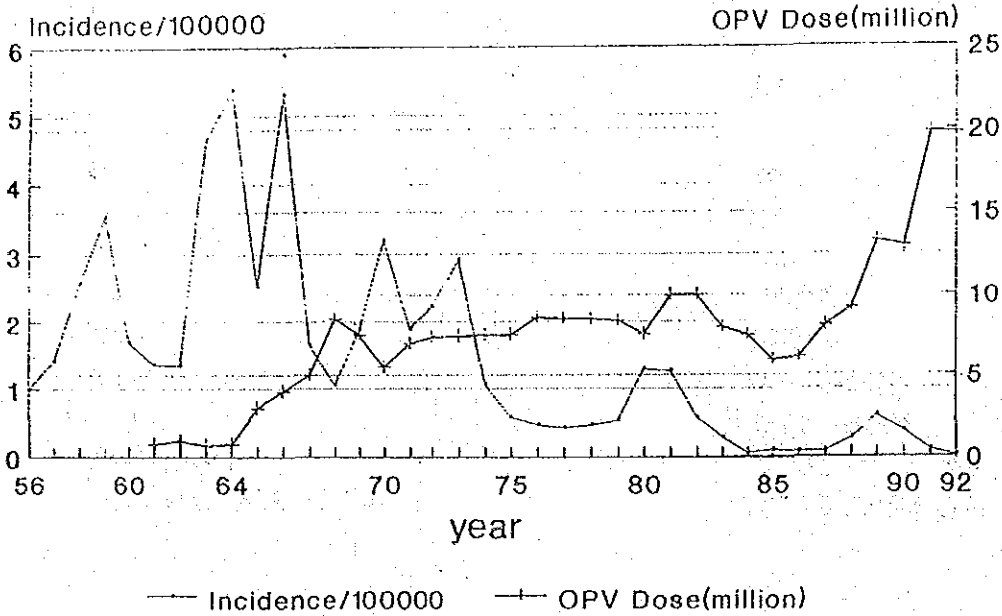


NO. 2

MEASLES IN SHANDONG PROVINCE  
1977-1992



# Polio Incidence and OPV Dosage Shandong 1956-1992



# POLIO CASES IN CHINA AND SHANDONG 1988-1992

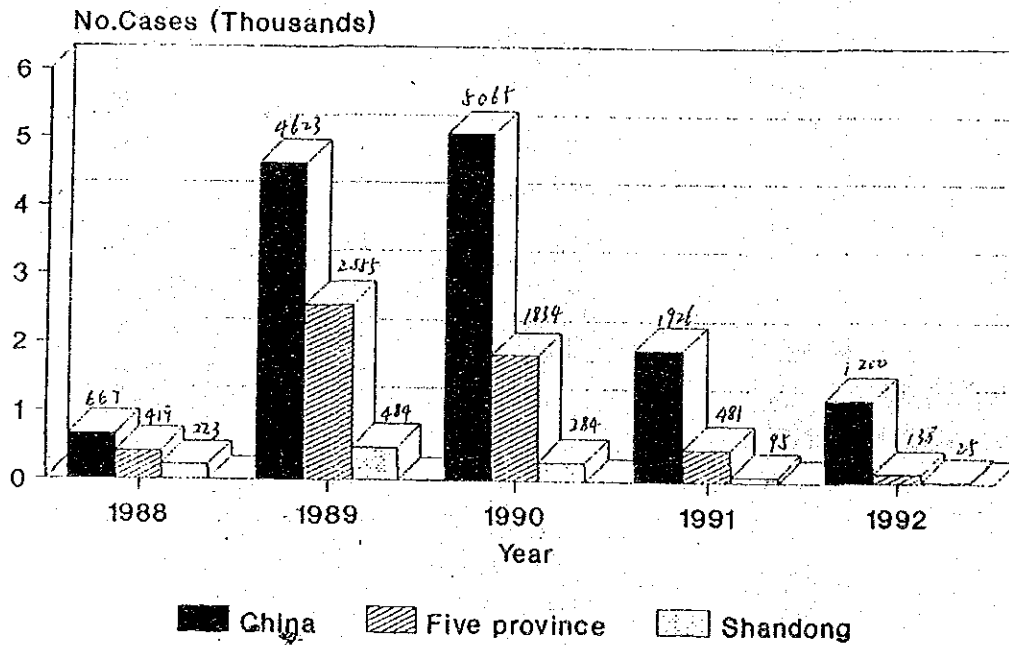


图1 AFP疫情的主动监测和常规报告系统 (省级)

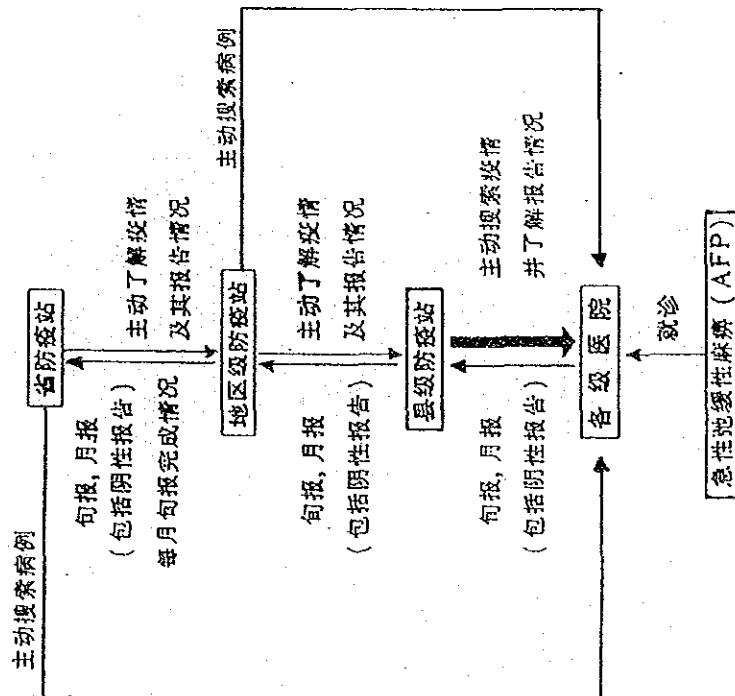
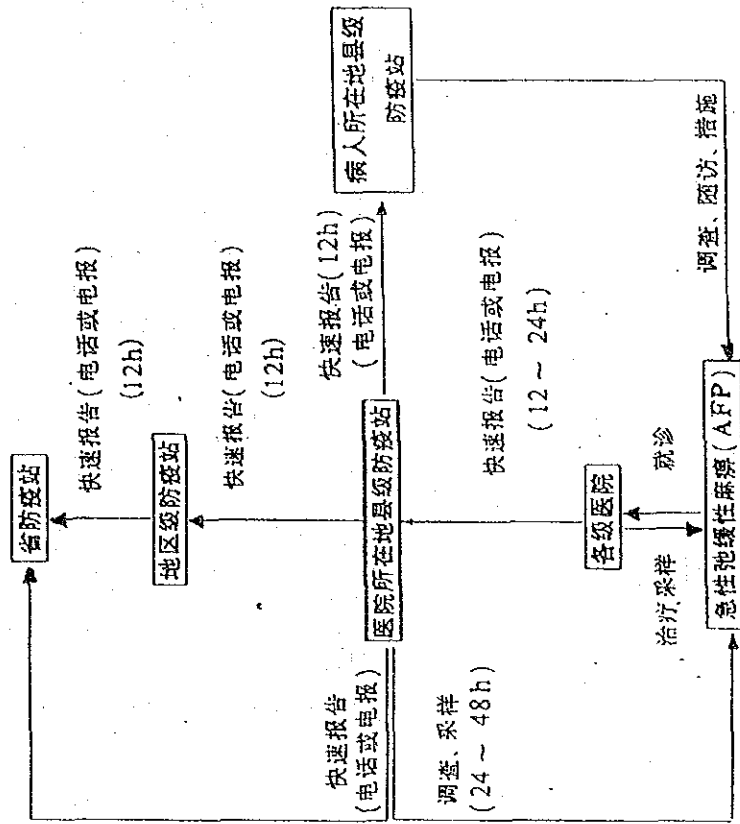
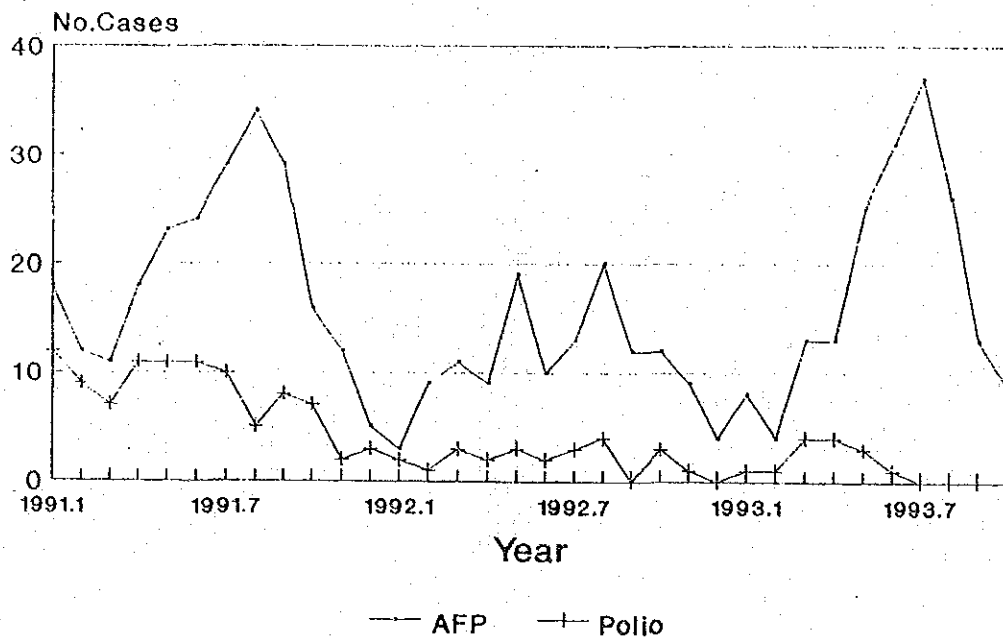


图2 AFP快速疫情报告系统 (省级)



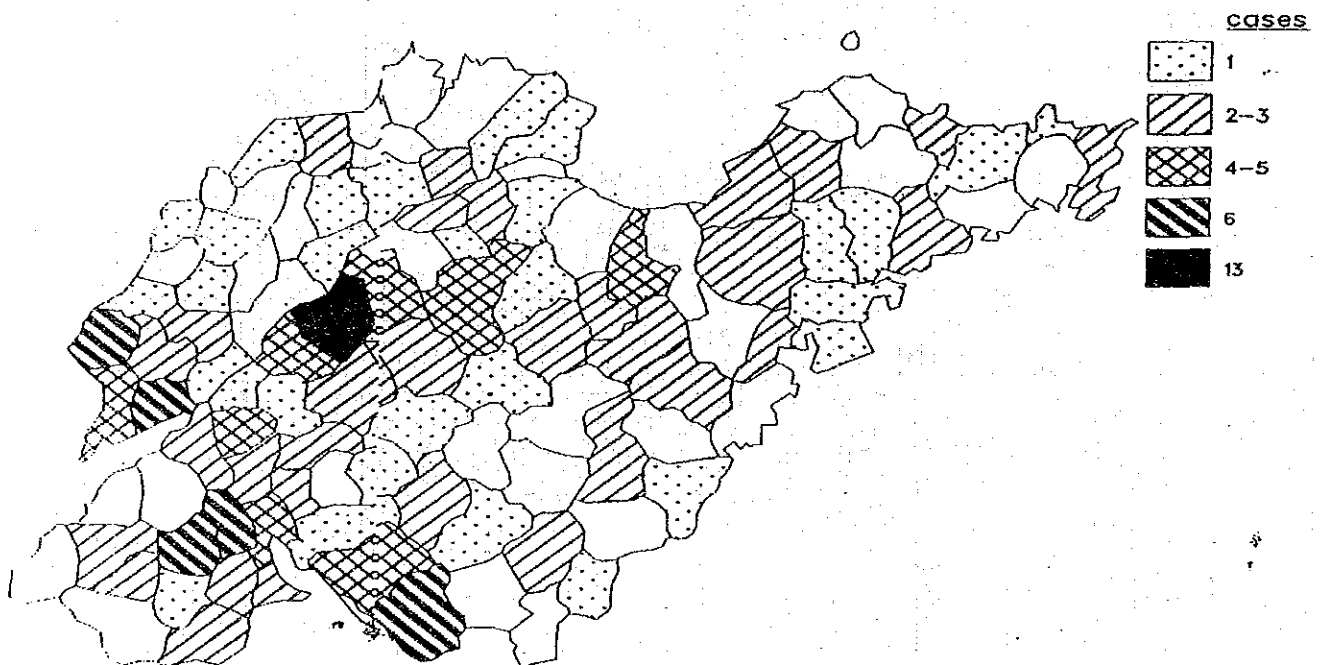
# Polio And AFP Distribution By Month

Shandong 1991-1993.10



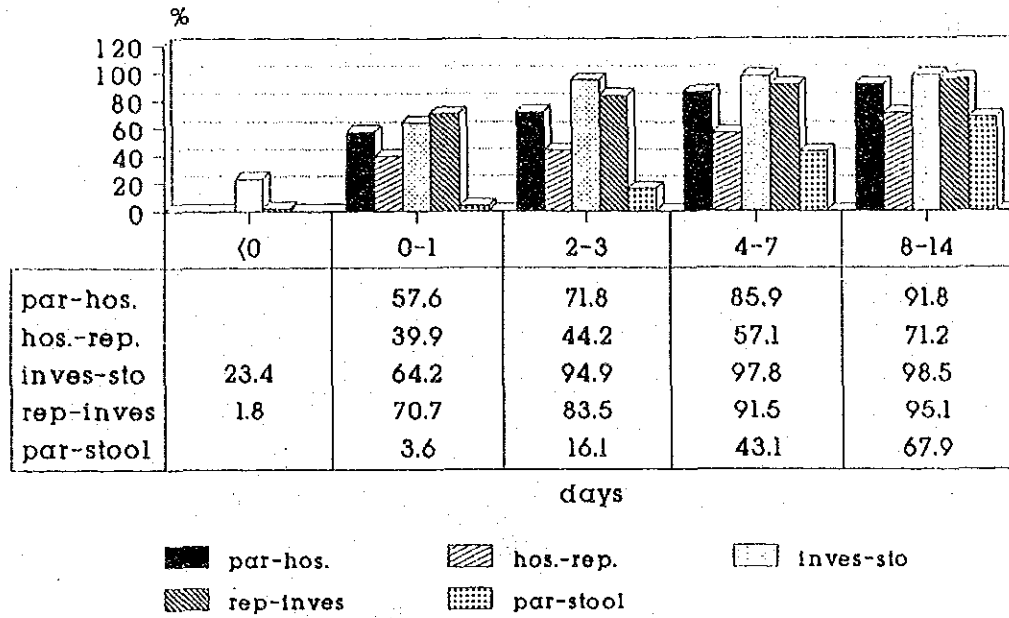
## Distribution of Reported AFP Cases

Shandong 30 October, 1993



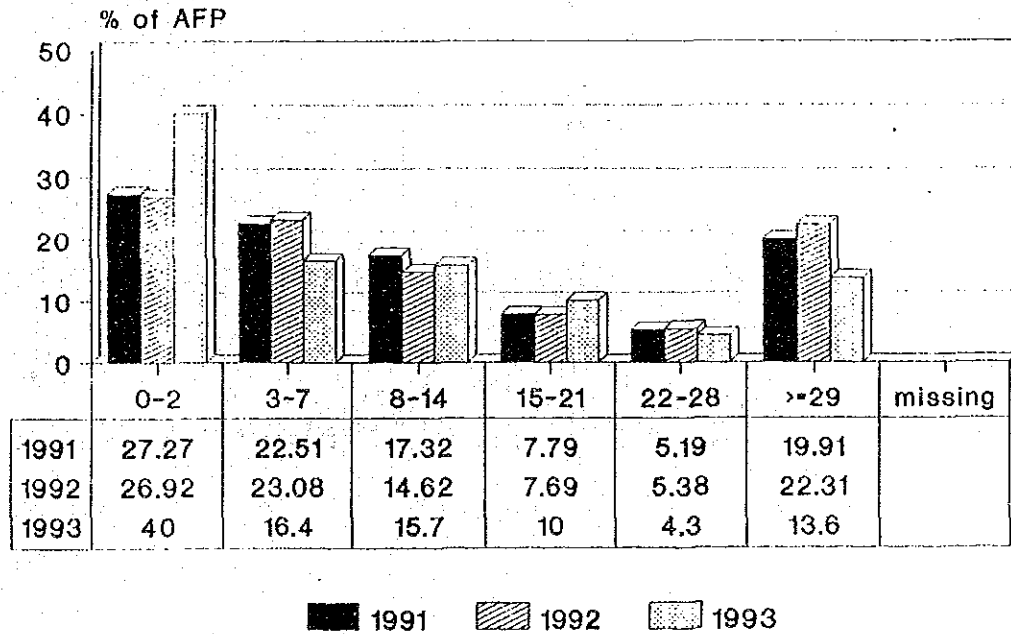


## Monitoring Indices for Surveillance Shandong 1993.10



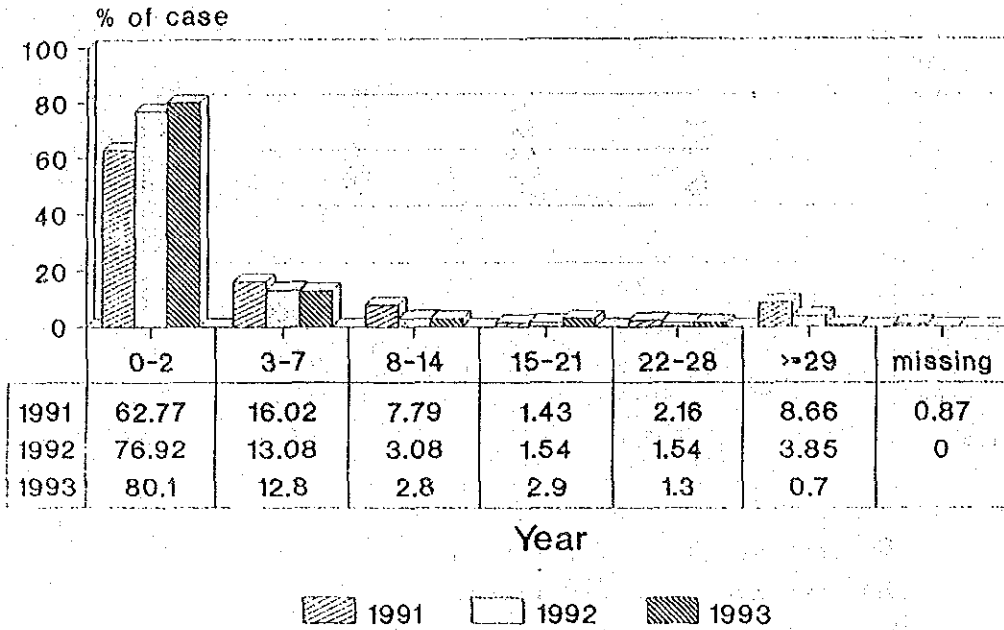
93-7.cht

## Interval between Hospital Visit & Report Shandong 1991-1993.10



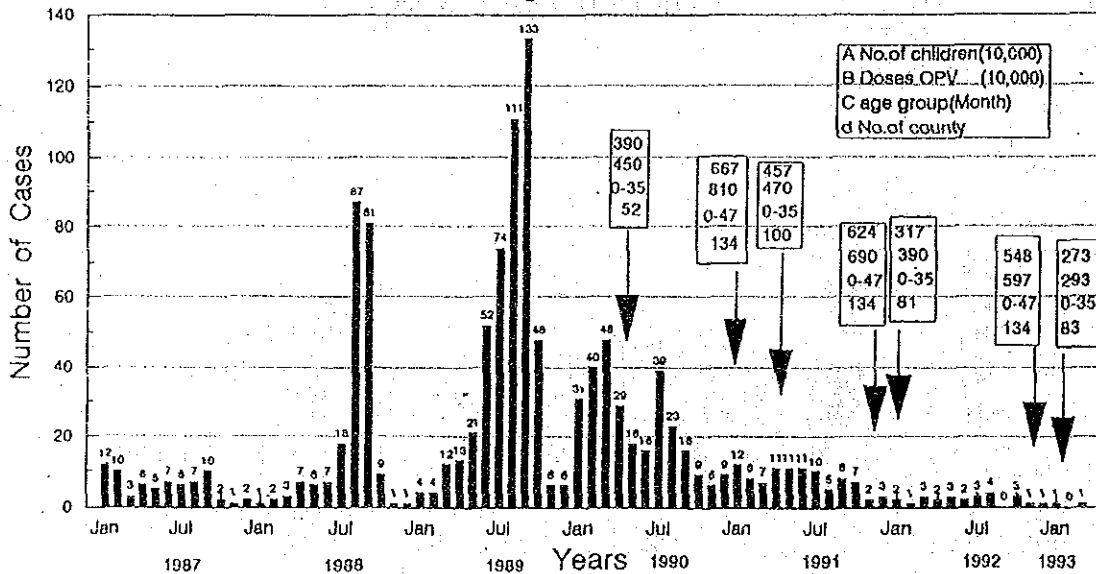
93-8.cht

## Interval between Report & Investigation Shandong 1991-1993.10



93-2.cht

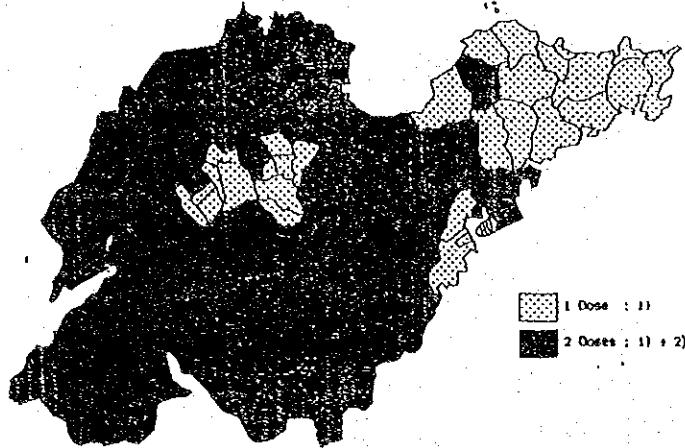
## Monthly Polio. Cases Shandong 1987-1993.3



May 29, 1993  
No 100-2

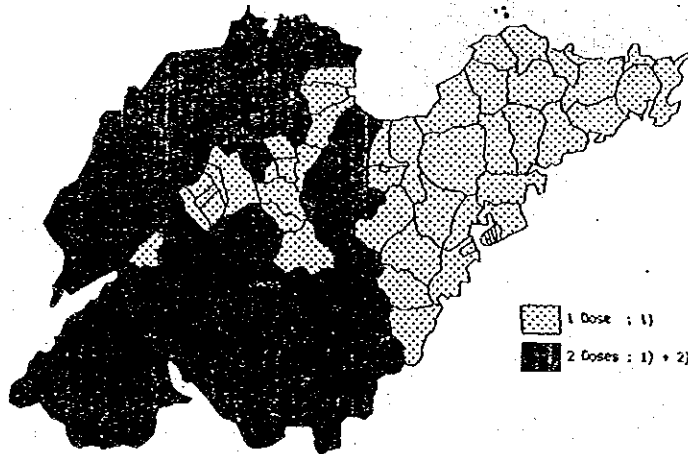
### OPV Mass Campaign (First)

- 1) Jan 1991 : 134 counties, <4 yrs (8,100,000 doses)
- 2) Apr 1991 : 100 counties, <3 yrs (4,700,000 doses)



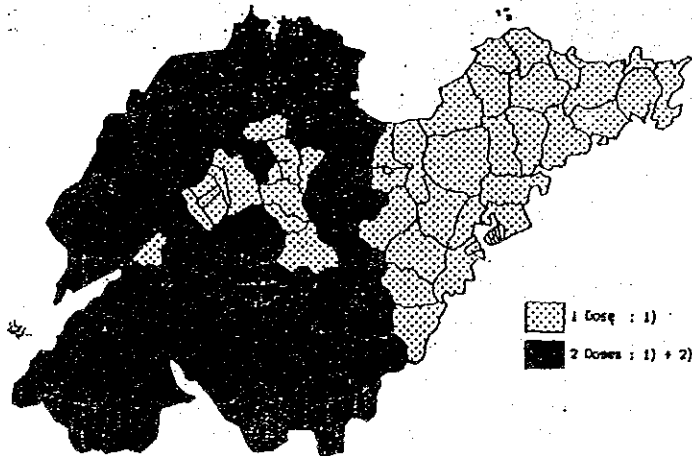
### OPV Mass Campaign (Second)

- 1) Dec 1991 : 134 counties, <4 yrs (8,900,000 doses)
- 2) Jan 1992 : 81 counties, <3 yrs (3,900,050 doses)



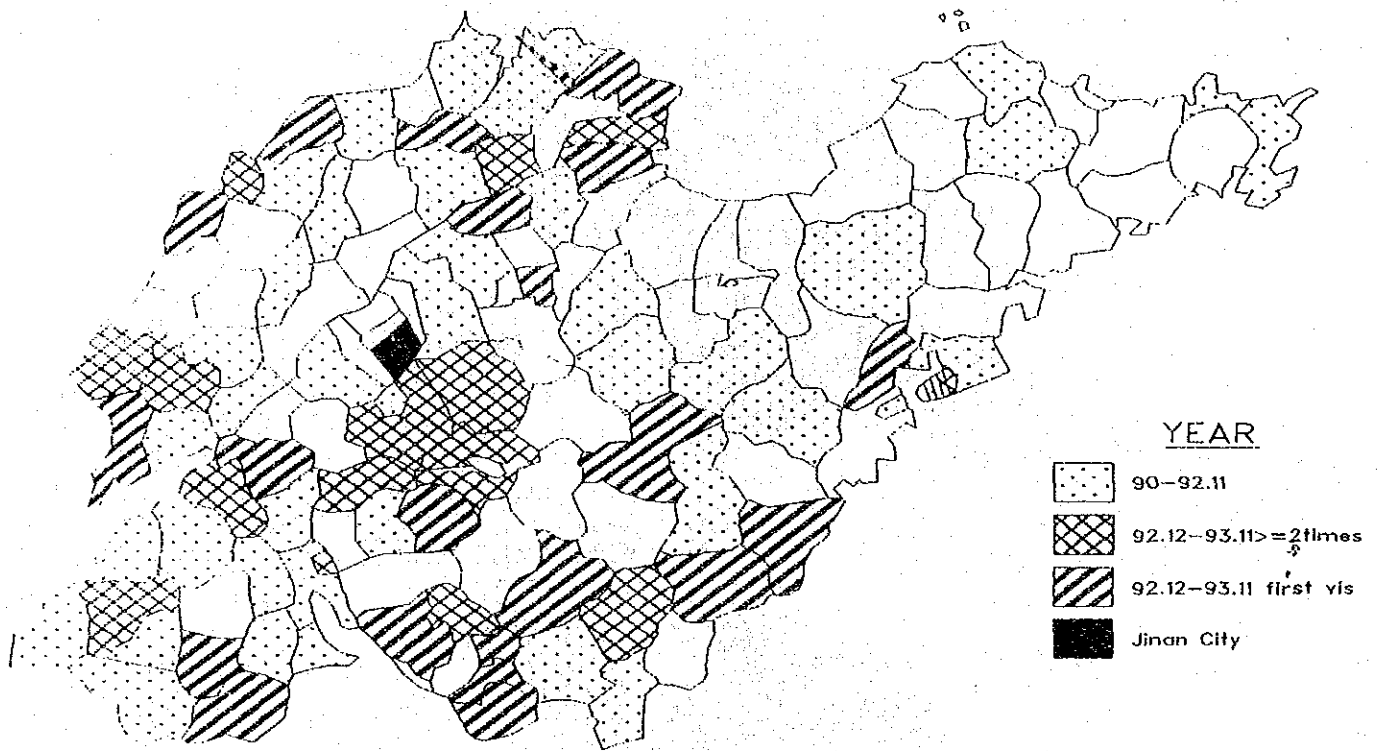
### OPV Mass Campaign (Third)

- 1) Dec 1992 : 134 counties, <4 yrs (5,970,800 doses)
- 2) Jan 1993 : 83 counties, <3 yrs



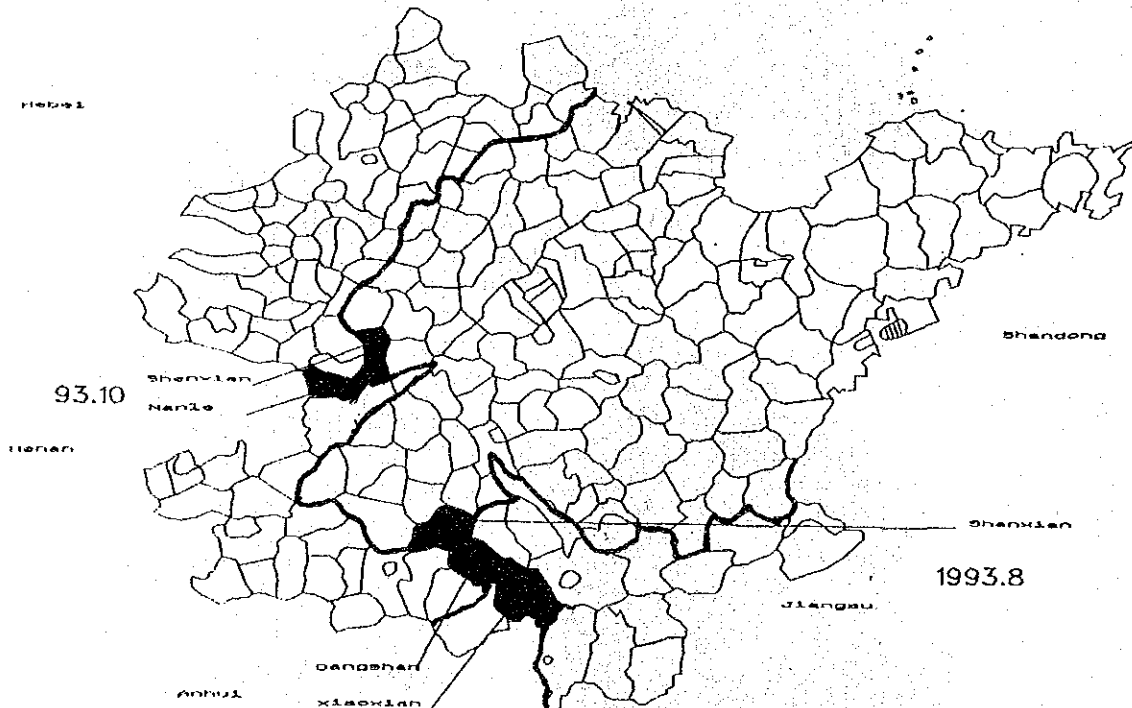
# Polio Surveillance Team Visit

31 October, 1993



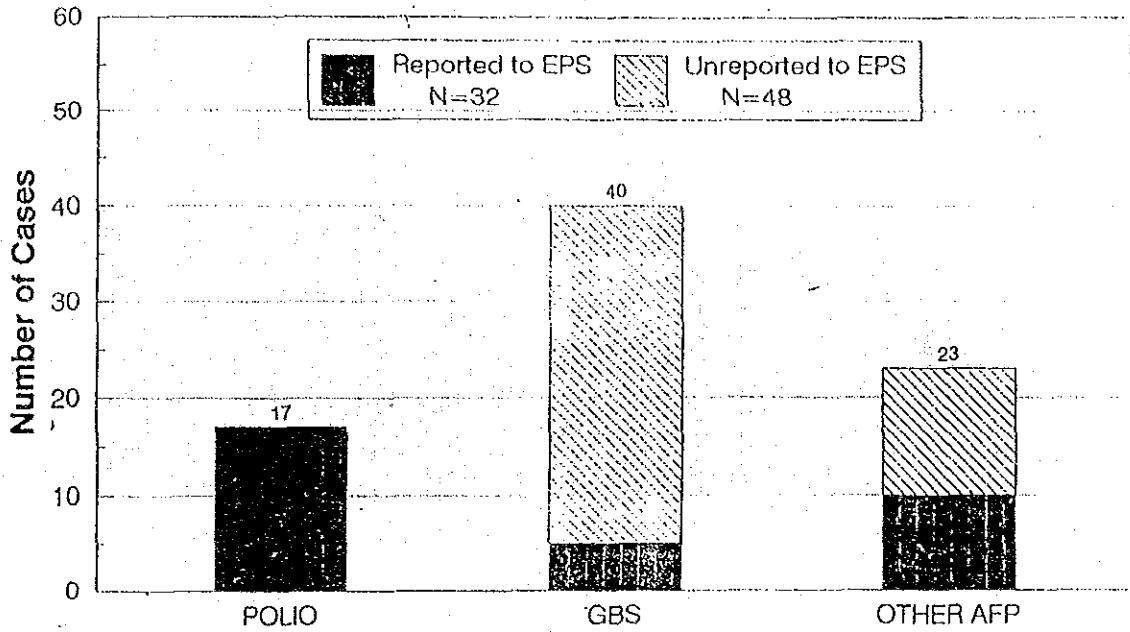
# Surveillance in two Province

16 November, 1993



## AFP REPORTING SITUATION IN HOSPITALS

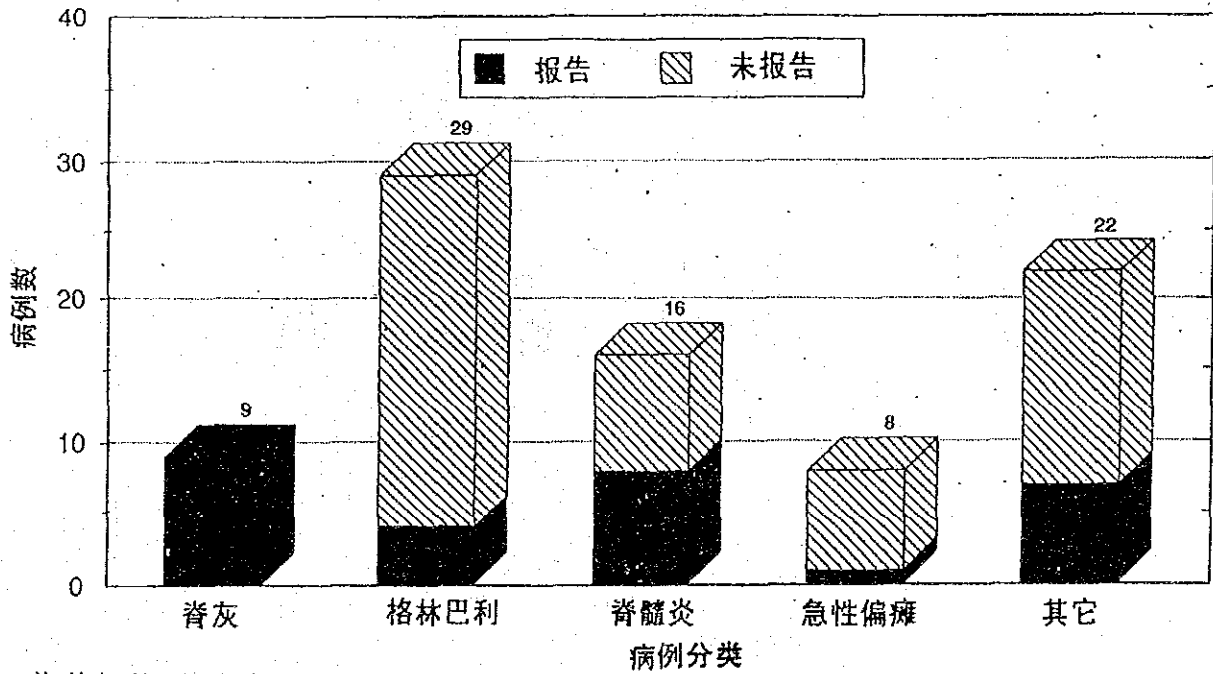
6 Hospitals in Jinan 1991



AFP CASES WERE INVESTIGATED FROM 6 BIG HOSPITALS OF JINAN, SHANDONG.

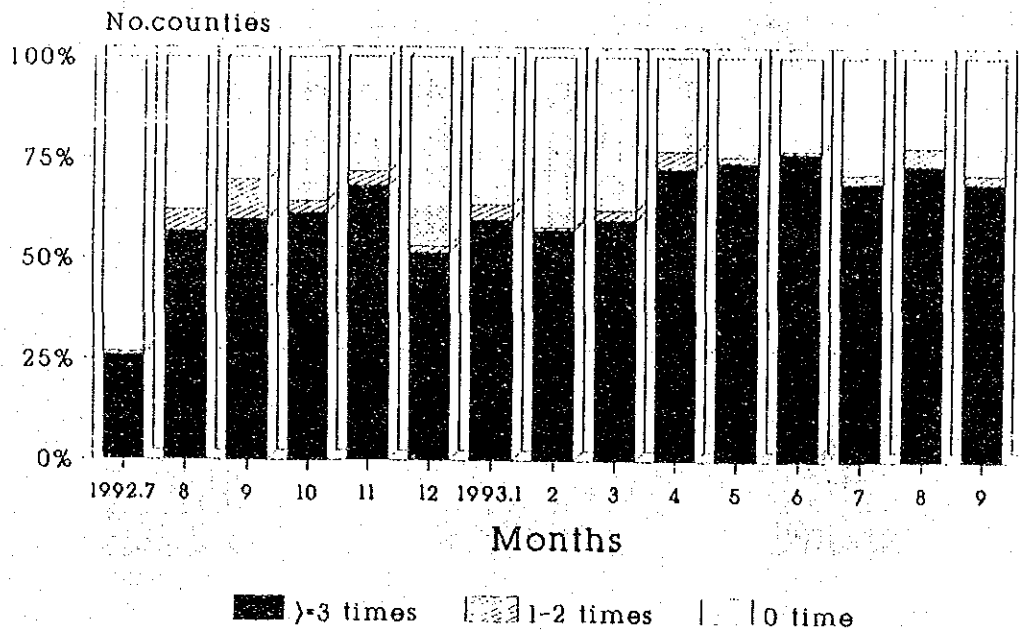
## 医院对AFP病例的报告情况

(1992, N=84)

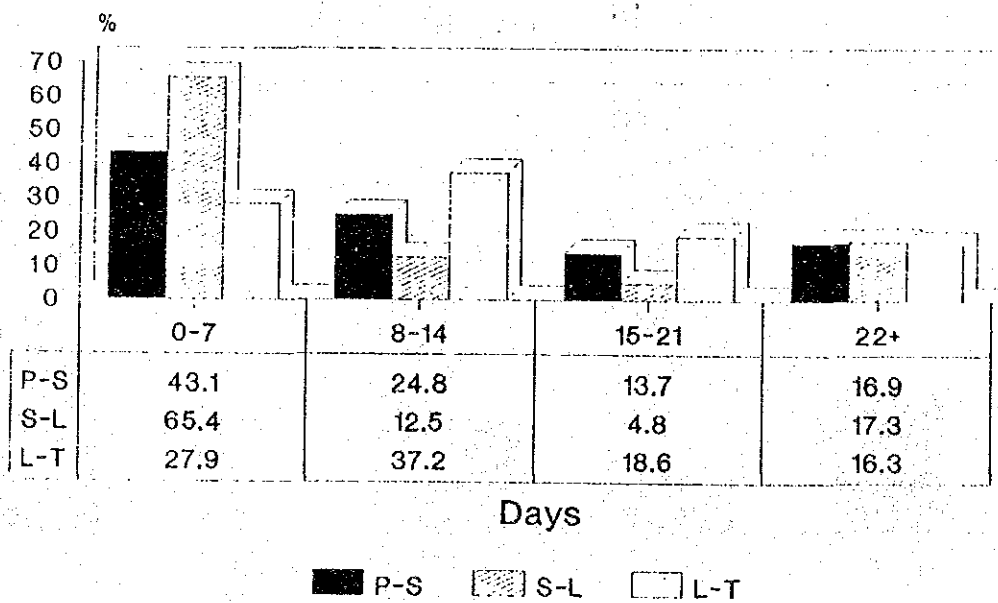


注: 济南7所医院的调查结果

# Active Surveillance by county EPS Shandong 1992.7-1993.9



# Lab Performance for AFP Case Shandong 1993.10



1993 137 stool sample collection

## AFP病例诊断分类

山东1993.1-10

病名(中英文)	例数		构成比 %	
	1992	1993	1992	1993
脊髓灰质炎 POLIOMYELITIS	25	14	19.2	9.3
多发性神经根炎 G. B. S	25	53	19.2	36.1
病毒性脊髓炎 MYELITIS	26	14	20.0	9.3
病毒性脑脊髓炎 ENCEPHALOMYELITIS	3	4	2.3	2.6
注射损伤 INJECTION PARALYSIS	3	9	2.3	6.0
一过性麻痹 TRANSIENT PARALYSIS		21		13.9
神经炎 NEURITIS	1	2	0.7	1.3
肌肉炎 MYOSITIS	3	1	2.3	0.7
外伤 TRAUMA	1	3	0.7	2.0
其他 OTHERS	39	30	29.8	19.9
合计	130	151	100	100

### 脊灰及AFP病例年龄分布

山东1993.1-10

年龄组(月)	脊灰	%	AFP	%	非脊灰AFP	%
0-11	9	64.3	18	10.1	5	3.6
12-23	2	14.3	31	17.3	22	16.1
24-35	1	7.1	48	26.8	41	29.9
36-47	0	0	23	12.8	20	14.6
48-59	0	0	11	6.1	10	7.3
>59	2	14.3	36	20.1	31	22.6
不详	0	0	12	6.7	8	5.8
合计	14	100	179	100	137	100

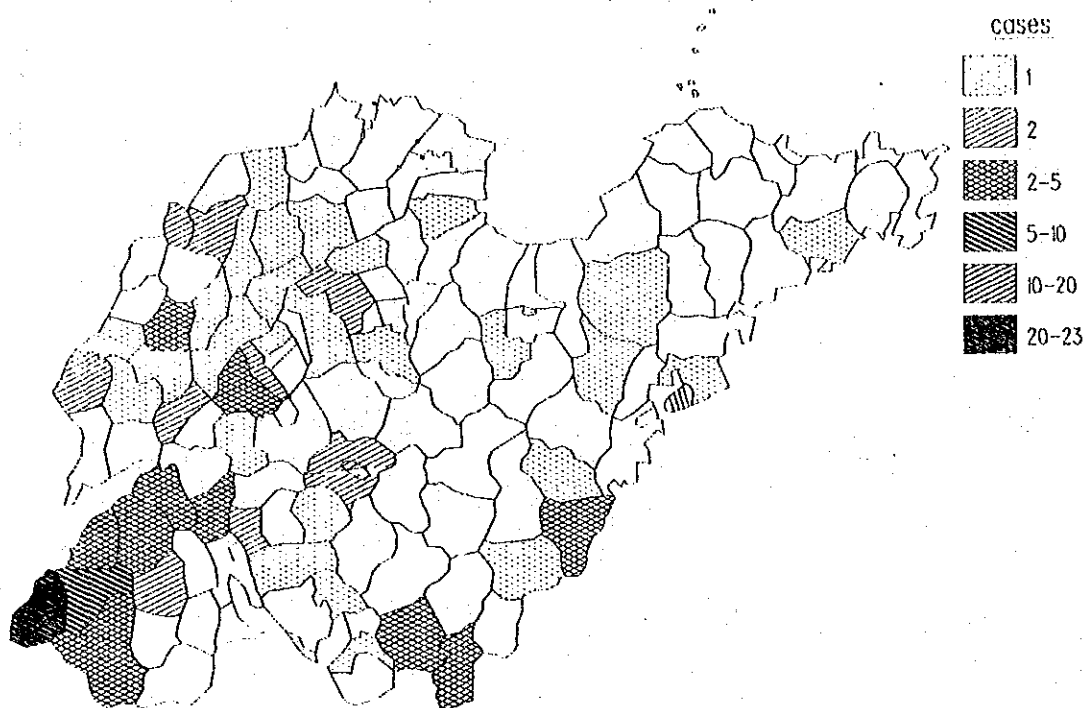
### 脊灰及非脊灰病例的免疫状况百分比

山东1993.1-10

年份	0次		1-2次		3次及以上		不详	
	脊灰	非脊灰	脊灰	非脊灰	脊灰	非脊灰	脊灰	非脊灰
1991	23	8	47	40	20	84	5	3
%	24.21	6.0	49.47	29.5	21.05	63	5.26	1.5
1992	4	8	13	26	7	71	1	1
%	16.0	7	52	26	28.0	67	4.0	1
1993	3	7	7	8	3	101	1	21
%	21.4	5.1	50	5.8	21.4	73.7	7.2	15.3



## Distribution of Polio Cases by County Shandong 1991-1992



## Polio Virus Isolation Results Shandong 1988-1993

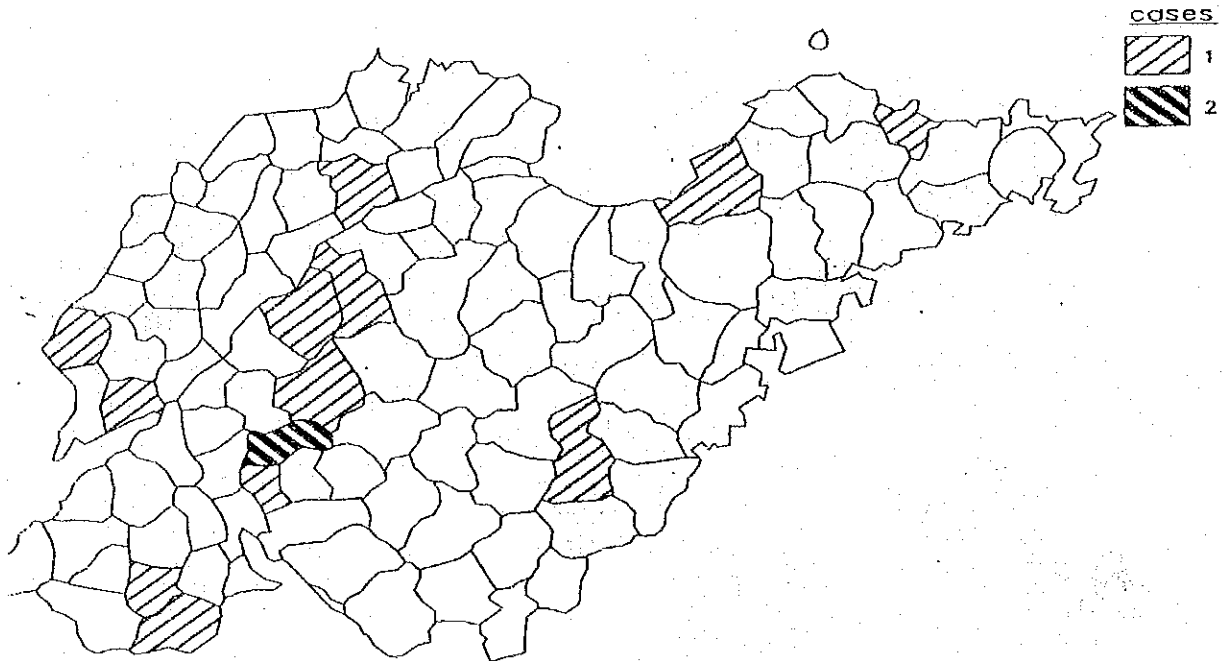
Year	No. of Samples	Positive	Polio Virus						Other
			I	II	III	I+II	I+III	II+III	
1988	18	11	10	0	1	0	0	0	0
1989	88	42	33	5	2	0	1	0	1
1990	35	15	6	3	3	2	0	0	1
1991*	136	57	2+	12	5	0	0	2	36+1**
1992*	117	59	9	7	8	5	1	3	16
1993*	92	20	10	0	2	1	2	0	5+1**

\*\* mix. with polio and non polio virus

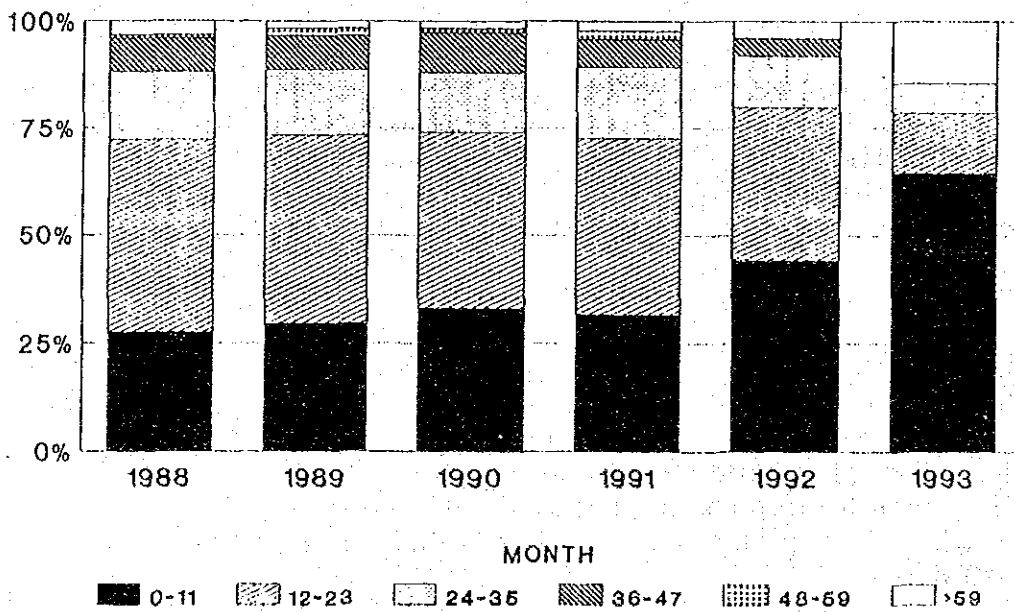
\* AFP cases ( confirmed cases for 88-90 )

No. of wild virus isolation      5 in 1990, 1 in 1991, 0 in 1992 and 1993

## Distribution of Polio Cases by County Shandong 1993,1-10



## AGE DISTRIBUTION OF POLIO CASES SHANDONG 1988-1993.10



3. 供与機材実績 (感染症対策費による供与分も含む)

J I C A 援助設備有関情況調査表

車両 (予防医学科学院)

脊髓灰質炎項目 (調査期1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	調査年 年度	分 単	配 位	配 理	備 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況	保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 効 果	備 注
1	ニッサンジープ 型号 W16. Y60. SCP. 3J	90年度/ 91年度	中国予防医学科学院全国調査 免疫技術指導センター		ポリオ対策		藤原基 処長	7000KM	良好	良好	
2	ミツビシミニバス 型号 PA00260	92年度/ 93年度	中国予防医学科学院全国調査 免疫技術指導センター		調査疫学活動		藤原基 処長		因未能上牌照, 未使用		

# JICA援助設備有関情況調査表

事務用機材・視聴覚機材 (中国予防医学科学院)

脊髄灰質炎項目 (調査期至1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設 備 管 理 負 責 人 及 職 務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	コピー機 型号 XEROX. 1027	92年12月	中国予防医学科学院カイル入研 研究所才実診断室	ポリ才課 活動	張心望 主任	良好	良好	使用状況良好 通称「カイル」 不可
2	コンピューター 型号 T&W386SX	92年12月	中国予防医学科学院流行病学研 究所計画教室	ポリ才課者 報告性計	刘敬子 主任	良好	良好	
3	印刷機 型号 愛宝通-9810	93年1月	中国予防医学科学院	ポリ才課 活動	刘敬	良好	良好	使用固障 丁寧保修理
4	印刷機 型号 愛宝PH-500	93年1月	中国予防医学科学院	ポリ才課 活動	刘敬	良好	良好	
5	OVER HEAD PROJECTO R (OHP) 型号	93年3月	中国予防医学科学院	ポリ才課 活動	〃	〃	〃	少备件灯

J I C A 援助効果評価有関状況調査表

実験室用機材・器具 (中国予防医学科学院ウイルス研究所)

脊髓灰質炎項目 (調査期間1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配置時間	分単位	配置理由	設備管理 負責人及職務	使用情況 行數距離 保養・管理情況	工作効果	備注
1	炭疽菌培養器 型名HIRASAWA CPD-170	92年11月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	郑江	很好正常	良好	
2	高压滅菌器 型名 TOMYSS-325	92年11月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	郑江	正常	良好	
3	マイクロピキター 型名 EM36	93年3月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	李士	正常	良好	
4	安全キャビネット 型名HITACHI SCV-1303	93年4月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	郑江			保存箱不潔 尚未取之
5	ANALYTICAL BALANCE 型名 METTLER AJ-180	93年4月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	〃			〃
6	CO <sub>2</sub> 培養器 型名HIRASAWA CPD-172	93年4月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	〃			〃
7	MEDICAL FREEZER 型名 SANYO MDF-U536	93年4月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	〃			〃
8	MEDICAL FREEZER 型名 SANYO MDF-436	93年4月	中国予防医学科学院ウイルス研 究所ポリ才実験室	ポリ才対象 活動	〃			〃

天平

冷蔵庫

9	DIGITAL WATER BATH 型号HIRASAWA WP-5-CP	93年4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	系中記					新不校修及 高不校修及同
10	PRECISION CONSTANT TEMPERATURE WATERBATH 型号TOKIWA KAGAKU	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
11	TEMPERATURE RECORDER FOR PRECISION CONSTANT TEMPERATURE WATER BATH 型号TOKIWA KAGAKU	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
12	REFRIGERATED CENTRIFUGE 型号HITACHI CR5 DL	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
13	TRINOCULAR CLINICAL LABORATORY MICROSCOPE 型号 OLYMPUS BHTU-312	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
14	INVERTED MICROSCOPE 型号 OLYMPUS CK2-BIP-1	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
15	DIGITAL AUTOCLAVE 型号 TOMY SS-325	93年4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"
16	DIGITAL AUTOCLAVE 型号 TOMY SS-245	93年4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ホリ才実教室	ホリ才実 活動	√					"

水  
箱

温度  
箱

温度  
箱

箱

光学  
鏡

显微镜

高压  
灭菌

17	DIGITAL HOT AIR STERILIZER 型号 GD-80-CP	93年4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ポリオ実験室	ポリオ対象 活動	郑知				新工機研 向玉彦 敬用
18	ULTRA PURE WATER APPARATUS 型号 MILLIPORE ZDQ22010	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ポリオ実験室	ポリオ対象 活動	√				
19	PHARMACEUTICAL REF RIGERATOR 型号 SANYO MPR-510	93年 4月	中国预防医学科学院ウイルス研 究所ポリオ実験室	ポリオ対象 活動	√				

18

19

# JICA 援助設備有関情況調査表

車両 (山東)

脊髄灰質炎項目 (備註欄に1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE-設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 行駛距離	保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	ニッサンジープ 型号 WGY60-111410	91年6月	山東省衛生防疫センター	サーベランス	孫毅 总务科科長	63000 Km	正常	良好	
2	ニッサンジープ 型号 WGY60-111396	91年6月	山東省済南市衛生防疫センター	サーベランス	董怡波 汽车队隊長	35000	〃	〃	換在城覆器 両
3	ニッサンジープ 型号 WGY60-111424	91年6月	山東省濟南衛生防疫センター 済南	サーベランス	在尊三 (总务科長)	58000 Km	〃	〃	
4	ニッサンジープ 型号 WGY60-111375	91年6月	山東省済南衛生防疫センター	サーベランス	劉少明 汽车队隊長	75000	正常	良好	
5	ニッサンジープ 型号 WGY60-111378	91年5月	山東省済南衛生防疫センター	サーベランス	洪福貴 (办公室主任)	42000	〃	〃	
6	ニッサンジープ 型号 WGY60-111430	91年5月	山東省済南衛生防疫センター	サーベランス	孫克均少尉 (办公室主任)	100000	〃	良好	
7	ニッサンジープ 型号 WGY60-111080	91年6月	山東省済南衛生防疫センター	サーベランス	马貴仔 (总务科科長)	65000	正常	良好	
8	ニッサンジープ 型号 WGY60-111367	91年6月	山東省済南衛生防疫センター 済南	サーベランス	張志山 (总务科長)	87000	〃	〃	



9	トヨタジープ 型式 0009317	92年10月	山東省济宁市衛生防疫センター	サ-ベランス	房建村 (办公室主任)	56500	正常	良好	未投装金部
10	トヨタジープ 型式 0008695	92年10月	山東省济宁市衛生防疫センター	サ-ベランス	杨国友 (办公室主任)	16000	〃	〃	〃
11	トヨタジープ 型式 0009746	92年10月	山東省日照市衛生防疫センター	サ-ベランス	杨宝驹 (付站长)	32000	〃	〃	〃
12	トヨタジープ 型式 0008733	92年10月	山東省青島市衛生防疫センター	サ-ベランス	赵元栋 (办公室主任)	22000	〃	〃	〃
13	トヨタピクアッブ 型式 0011299	92年10月	山東省曲阜市衛生防疫センター	サ-ベランス	单庆礼 (防疫站长)	25981	〃	〃	〃
14	トヨタピクアッブ 型式 0010892	92年10月	山東省新山縣衛生防疫センター	サ-ベランス	吴清平 (站长)	28000	〃	〃	〃
15	トヨタピクアッブ 型式 0010891	92年10月	山東省莒縣縣衛生防疫センター	サ-ベランス	王通卫 (办公室主任)	31000	〃	〃	〃
16	トヨタピクアッブ 型式 0010717	92年10月	山東省莒縣縣衛生防疫センター	サ-ベランス	陈永利 (站长)	23000	〃	〃	〃
17	トヨタピクアッブ 型式 0010716	92年10月	山東省莒縣縣衛生防疫センター	サ-ベランス	王保女 (付站长)	30000	〃	〃	〃

18	ニッサンジープ 型号 WGY60-111301	91年6月	山东省德州地区衛生防疫 センター	サーバー	于德金 (計室科長)	43000	正常	良好	
19	ニッサンジープ 型号 WGY60-111414	91年6月	山东省泰安市衛生防疫センター	サーバー	杨革臣 (办公室主任)	392000	" "	" "	水箱漏水, 发动机异常
20	ニッサンジープ 型号 WGY60-111374	91年6月	山东省潍坊市衛生防疫センター 分館	サーバー	梁忠智 (办公室主任)	49000	" "	" "	
21	ニッサンジープ 型号 WGY60-111366	91年6月	山东省聊城地区衛生防疫 センター	サーバー	伍忠华 (办公室主任)	50000	" "	" "	更換了几个 零件
22	ニッサンジープ 型号 WGY60-111426	91年6月	山东省潍坊市衛生防疫 センター	サーバー	冯幼兰 (办公室主任)	70000	" "	" "	
23	ニッサンジープ 型号 WGY60-111387	91年6月	山东省衛生厅	サーバー	刘同保 (防疫处付主任)	64000	" "	" "	
24	ミツビシニッサ 型号 PA00280	92年10月	山东省衛生防疫センター	IIICA部門 家用	孙毅 (总务科付主任)	8000	" "	" "	未拉拔在洞
25	ニッサンピックアップ 型号 439049	93年6月	山东省潍坊市衛生防疫センター 分館	サーバー	張庆远 (站长)	10746	" "	" "	
26	ニッサンバン 型号 S06022	93年6月	山东省潍坊市衛生防疫センター 分館	サーバー	董良君 (計室科長)	20000	" "	" "	

JICA 援助設備有關情況調查表

実験室用機材・器具 (山東)

脊髓灰質炎項目 (調査期間 1993年10月31日)

序号	設備名稱 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保養・管理情況	工 作 效 果	備 注
1	安全テレビネット 型号 HITACHI SCY	91年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	徐愛強 EPI科主任	有-例風和不安	良好	
2	超速心機 型号 HITACHI CP56G	91年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	
3	高速心機 型号 HITACHI CR15T	91年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	
4	超速心機 型号 SANYO MDF-492AT	91年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	
5	蛍光顕微鏡 型号 OLYMPUS DHF	91年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	
6	安全テレビネット 型号 HITACHI SCY	92年9月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	经常断電(停电 管经常烧断)	良好	
7	纯水製造装置 型号 AQUARIUS GS-200	92年9月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	
8	立式顕微鏡 型号 OLYMPUS CK2	92年9月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上	良好	良好	

9	独立型記録 型号 OLYMPUS CK <sub>2</sub>	92年9月	山東省青島市衛生防疫センター	ポリオ対策 活動	張成義 EP工科長		良好	良好
10	独立型記録 型号 OLYMPUS CK <sub>2</sub>	92年9月	山東省済南市衛生防疫センター	ポリオ対策 活動	由同光 EP工科長		良好	良好
11	改良ガス培養器 型号HIRASAWA CPD-170	92年9月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	徐愛珍 EP工科長付任		良好	良好
12	独立型培養器 型号 TONYSS-325	92年8月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上		良好	良好
13	混合器 型号 G-560	92年6月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	同上		良好	良好

J I C A 援助設備有関情況調査表

事務用機材・視聴覚機材 (山東)

脊髓灰質炎項目 (調査期間1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配置時間	分単位	配置理由	設備管理 負責人及職務	使用情況 保養・管理情況	工作效果	備注
1	コピー機 型号 RICOHO FT-2260	90年12月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	徐慶強 EPI課主任	2台 26842張 郵印即時機械提供, 経作修及印紙等乙 不十分修理(黒)		
2	コピー機 型号 CANON NP-1215	91年4月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	(有)	良好		
3	コンピューター 型号 IBMPS2 55SX	91年3月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ患者 報告統計	(有)	良好		
4	コンピューター 型号 IBMPS2 55SX	91年3月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ患者 報告統計	(有)	良好		
5	スライド プロジェクター 型号 ELMO	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画発表課	ポリオ対策 活動	(有)	良好		江Ae.10.11, 备用灯付
6	オーバーヘッド プロジェクター 型号 ELMO	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画発表課	ポリオ対策 活動	(有)	良好		(有)
7	カメラ 型号 MINOLTA	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画発表課	ポリオ対策 活動	(有)	良好		
8	ビデオセットレコーダー 型号 PANASONIC2186	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画発表課	ポリオ対策 活動	(有)	良好		

9	ビデオカメラ 型号 PANASONIC J20	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画免疫課	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	
10	テープレコーダー 型号 SHARP GX-33Z	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画免疫課	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	
11	エアコンディショナー 型号 SANYO	91年4月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	
12	エアコンディショナー 型号 SANYO	91年4月	山東省衛生防疫センター ポリオ対策プロジェクト	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	
13	クーラー 型号 TOSHIBA	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画免疫課	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好 空気清浄機故障、 已交換	換取上、原国産 空気清浄機、 已交換
14	クーラー 型号 TOSHIBA	91年4月	山東省衛生防疫センター 計画免疫課	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	毛毯、 已交換
15	コンピューター 型号 T&W9208811	92年11月	山東省衛生防疫センター	ポリオ対策 活動	(有) 2		良好	

附件1.

首飾(江蘇)

江苏省疾病预防控制中心(江苏省疾病预防控制中心)

骨髓灰質炎項目(預算開至1993年10月31日)

序号	設備名稱* TYPE一設備型號	配 置 時 間	分 單 位	配 置 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 行 駛 距 離	用 情 況 保養、管理情況	工 作 效 果	備 注
1	トヨタ 型號 6005816	92年12月	江蘇省衛生防疫中心	ポリオ対策	戴毅明 行政科付科長	8960	台保. 正常	良好	
2	トヨタ 型號 0020072	92年12月	江蘇省衛生防疫中心	ポリオ対策	戴毅明 行政科付科長	15831	台保. 正常	"	
3	トヨタ 型號 6005612	92年12月	江蘇省連雲港市衛生防疫 中心	ポリオ対策	郭仁友 付科長	29180	台保. 正常	"	
4	ニッサンピックアップ 型號 439037	93年6月	江蘇省姜堰市衛生防疫中心	サ-バランス	顧浩磊 付科長	7000	台保. 正常	"	
5	ニッサン 型號 506018	93年5月	江蘇省溧陽縣衛生防疫中心	サ-バランス	周新亞 站長	4400	台保. 正常	"	

J I C 援助設備有関情况进行了表

事務用機材・視聴覚機材 (江蘇)

有關灰質項目 (截至1993年10月31日)

序号	設備名稱 TYPE—設備型號	配置 時間	分 單 位	配 置 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 行駛距離 保養·管理情況	工 作 效 果	備 注
1	コンピューター 型號 TAN386SX	92年12月	江蘇省蘇州機械中心	資料保存 網絡組	張文火室 主任醫師	良好	非常良好	提供技術培訓時 發現是手寫器, 無零件 別因故障時間向原供方 報告。
2	コピー機 型號 XEROX. 1027	92年12月	江蘇省蘇州機械中心	資料複製 活動	刁建森 科長	良好	良好	

由蘇州機械中心  
報告。



J I C A 援助設備有関情況調査表

事務用機材・視聴覚機材 (安徽)

青島震災項目 (開始至1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 置 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 効 果	備 注
1	コンピュータ 型 W386SX	92年12月	安徽省衛生防疫センター	ボランティア 開始時	沈书刚 付科长	良好	良好	
2	コピー機 型 XEROX. 1027	92年12月	安徽省衛生防疫センター	ボランティア 活動	沈书刚 付科长	良好	良好	

JICA 援助設備有關情況調查表

實驗室用機械・器具 (安徽)

脊髓灰質炎項目 (截至1993年10月31日)

序号	設備名稱 * TYPE—設備型號	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	滅菌滅菌器 型號 TOMYSS-32E	92年11月	安徽省衛生防疫站	器材採購 活動	沈永剛 付科長	良好	好	

JICA援助設備有関情况調査表

草画 (安徽)

青蒿炭質灰項目 (購置) 1993年10月31日付

序号	設備名称 * TYPE—設備番号	起 時 間	分 單	配 置 位 置	配 置 数	設備管理 负责人及職務	取 引 距離	用 途 保 養・管理情况	工 作 状 况	備 注
1	ニッケル 型号 WLG. Y60, SCF. 01	91年6月	安徽省 铜陵市	铜陵市	1台	戴振威 副站长	4公里	良好	良好	
2	ニッケル 型号 WLG. Y60, SCF. 01	91年6月	安徽省 铜陵市	铜陵市	1台	宋芝莲 站长	3.2公里	消声器 更換	良好	
3	ニッケル 型号 WLG. Y61, SCF. 01	91年6月	安徽省 防病学	防病学	1台	齐建国 副局长	3公里	良好	良好	
4	トヨタ 型号 0020009	92年11月	安徽省 防病学	防病学	1台	高荣兴 站长	3公里	良好	良好	
5	トヨタ 型号 0020007	92年11月	安徽省 防病学	防病学	1台	范开元 副站长	2公里	良好	良好	无空烟 滤清器
6	トヨタ 型号 6005682	92年11月	安徽省 防病学	防病学	1台	刘学敏 站长	3公里	良好	良好	同上
7	ニッケル 型号 430000	93年6月	安徽省 防病学	防病学	1台	夏成杰 站长	14公里	良好	良好	同上
8	ニッケル 型号 600019	93年6月	安徽省 防病学	防病学	1台	徐世昭 副站长	1500 公里	未使用	良好	由手打 合車 来
9	ニッケル 型号 001045	93年6月	安徽省 防病学	防病学	1台	戴振威 副站长	1500 公里	未使用	未用	

折旧年度

序号	设备名称 * TYPE 一般设备号	启用日期	分 部 位	配 理 人	设备管理 负责人及职务	行驶里程	使用 状况 保养、修理情况	工 作 绩 果	备 注
1	13270 型 4045616	92年2月 7日	北京地区 顺义 侯阳	朝阳区	郭旭明 行政科长	21000 km	良好	很好	
2	13270 型 0011116	92年12月	北京地区 顺义 开封	朝阳区	林玉民 办公室主任	12500 km	..	..	
3	13270 型 0006104	92年12月	北京地区 顺义 河南省 鹤壁	朝阳区	薛希顺 办公室主任	30105 km	..	..	
4	22270 型 437010	92年12月 9日	北京地区 顺义 商丘地区	朝阳区	田国家 站长	20500 km	..	..	
5	22270 型 437030	93年5月 9日	北京地区 顺义 焦作市	朝阳区	张锡栖 办公室主任	11000 km	..	..	
6	22270 型 506019	93年6月	北京地区 顺义 安阳市	朝阳区	王成凤 司机班长	8500 km	..	..	由于附加费 车辆没办建牌照。
7	22270 型 506020	93年6月	北京地区 顺义 新乡市	朝阳区	胡丁俊 办公室主任	8000	..	..	附加费 车辆没办建牌照。
8	22270 型 506016		控						
9	22270 型 437062		控						

# J I C A 援助設備有関情況調査表

実験室用機材・器具 (河南)

脊髓灰質炎項目 (開始日1993年10月31日)

序号	設備名稱 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	炭塵吸入装置 型号HIRASAWA CPD-170	1993年	河南省衛生防疫站	ポリオ対策 活動	陳美光	良好	优良	

# JICA援助設備有関情況調査表

事務用機材・視聴覚機材 (河南)

脊髄灰質炎項目 (調査期間至1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保養・管理情況	工 作 效 果	備 注
1	コンピューター 型号 T&W386SX	92年12月	河南省衛生防疫センター	ホリタ獎者 報告材料	王建君 医師	良好	对脊灰疫症 的管理有 的放矢效果	計划初年度 盘接用不良
2	コピー機 型号 XEROX. 1027	92年12月	河南省衛生防疫センター	ホリタ対象 活動	王保华 主管醫師	良好	非常	

# JICA 援助設備有関情况調査表

車両 (湖北)

脊髓灰質炎項目 (調査年度: 1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE - 設備型号	配置 時間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使用 距離	使用 情况 ・管理 ・保 ・保	工作 效果	備 注
1	ニクサンゾー 型 WLG, Y60, SCP, 3)	91年6月	湖北省衛生防疫站	材料費	王健 車隊長	截止93.8 57771公里	轮胎已全部更換 一次 其之均正常	正常	
2	ニクサンゾー 型 WLG, Y60, SCP, 3)	91年6月	湖北省衛生防疫站	材料費	昌革 主任科员	截止93.8 78500公里	轮胎已全部更換 次, 方向机球头 球头球头有异响 松油, 底盘时 有异响, 或只 有及修理该车型的 的能力。	正常	

请速寄: 16100省卫厅防疫处:

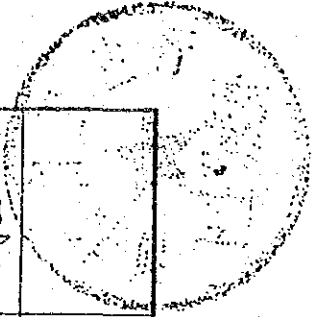
m: 40 61.

附件1. JICA援助設備有関情況調査表

車両 (河北)

脊髓灰質炎項目 (截至1993年10月31日)

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	トヨタバン 型号 0020356	92年11月	河北省衛生防疫處	EPI活動 報表	王文元 處長	31900 好	好	美中不足 空調. 滿不 按表
2	トヨタバン 型号 0005868	92年11月	河北省唐山市衛生防疫センター	サーベランス	張振才 站長	21200 好	好	同上
3	トヨタバン 型号 6005806	92年11月	河北省石家庄市衛生防疫 センター	サーベランス	李志法 站長	20010 好	好	同上
4	トヨタピックアップ 型号 9011357	92年11月	河北省文安縣衛生防疫センター	サーベランス	張云敏 站長	19200 好	好	同上
5	ニッサンピックアップ 型号 439012	93年6月	河北省武進衛生防疫センター	ポリオ対策	王國峰 站長	9000 好	好	同上
6	ニッサンバン 型号 506015	93年5月	河北省衛生防疫センター	ポリオ対策	朱金安 站長	8420 好	好	



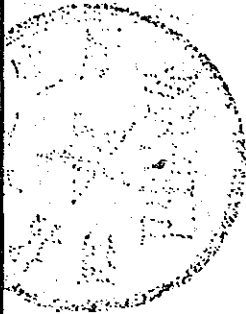


JICA援助設備有関情況調査表

事務用機材・視聴覚機材（河北）

脊髓灰質炎項目（植柳至1993年10月31日）

序号	設備名称 * TYPE—設備型号	配 置 時 間	分 單 位	配 理 由	設備管理 負責人及職務	使 用 情 況 保 養 ・ 管 理 情 況	工 作 效 果	備 注
1	コンピューター 型号 T&W3869X	92年12月	河北省衛生防疫センター	ポリ才應者 報告材料	孫賢付主任	好	较好	
2	コピー機 型号 XEROX. 1027	92年12月	河北省衛生防疫センター	ポリ才対策 活動	郝玉琦主任	大修一次加修三次, 耗2400元	一般	墨粉乾度差 經常卡紙



## JICA提供器材设备一览表

金额: 总价值1492547千日元(人民币约746.27万元)

90年61281千日元(人民币约306.40万元)

91年47303千日元(人民币约236.52万元)

92年40670千日元(人民币约203.35万元)

1, 车辆: 总价值96320千日元(人民币约481.60万元)

(90年40300千日元; 91年36044千日元; 92年19976千日元)

59台(90年20台, 91年25台, 92年14台)

单位: 院部2台 河北8台 山东26台 河南7台 江苏5台 安徽9台  
余2台未分

2, 办公用品: 总价值12,439千日元(人民币约62.20万元)

(90年5305千日元; 91年833千日元; 92年6301千日元)

90年: 计算机2台, 复印机2台, 幻灯机1台, 投影仪1台, 相机1台,  
摄像机1台, 录音机1台, 监视器1台, 空调4台(单位: 山东)

91年: 计算机6台(单位: 山东, 河北, 河南, 安徽, 江苏, 流研所)  
复印机5台(单位: 河北, 河南, 安徽, 江苏, 病毒所)

印刷机, 制版机各1台(单位: 院部),

传真机, 计算机各1台(项目办公室)

92年: 印刷机、制版机各1台(单位: 山东); 空调5台(诊断室3台, 办公室2台)

教学设备: 计算机2台, 激光打印机1台, 复印机1台, 调音台1台,  
音箱2台, 摄相机1台, 录相机1台, 相机1台, 幻灯机1台(单位: 院部)

3, 实验器材设备: 总价值40495千日元(人民币约202.48万元)

90年15676千日元; 91年10426千日元; 92年14393千日元

90年: 洁净台1台, 离心机2台, 显微镜1台, 冰柜1台(单位: 山东)

91年: 洁净台1台, 纯水装置1台, 显微镜3台(单位: 山东)

CO<sub>2</sub>孵箱3台(单位: 病毒所, 山东, 河南)

高压灭菌器3台(单位: 病毒所, 山东, 安徽)

92年: 洁净台1台, 显微镜2台, 高压灭菌器(大、小)2台, 干燥灭菌器1台,

纯水装置1台, 冷冻箱1台, 电子称1台, CO<sub>2</sub>孵箱1台,

药用冷藏柜(大、小)2台, 恒温水箱1台, 超精密恒温水箱1台

自动温度记录仪1台, 低温离心机1台(单位: 病毒所)

注: 换算率 1元=20日元

JICA 供与機材 (現地調達) 一覧表  
(1) ポリオ対策

計画年度	車 両		実験室機材		事務用機材		備考 総額 千円			
90年度	※ ステーションワゴン 4WD ニッサン  20台	千円	安全キャビネット (破損)	千円	☆コンピューター	千円	※感染症対策向け			
			1台	2,380	2台	1,928				
			遠心機	2台	9,714	コピー機	1,706			
			顕微鏡	1台	1,190	1台				
			冷凍庫	1台	2,392	OHP	1台	3,90		
						スライド器	1台	3,00		
						カメラ	1台	3,00		
						ビデオセット レコーダ	1台	1,08		
						ビデオモニター	1台	1,08		
						テープレコーダ	1台	35		
						☆クーラー	4台	702		
		40,300		15,676			61,281			
91年度	ピックアップトラック (トヨタ)	3台	安全キャビネット	1台	2,380	☆コンピューター	6台	127,800円	※感染症対策向け	
	3台		3,834	純水製造装置	1台	781	☆コピー機	5台		124,000円
	ミニバス (三菱)	2台	2,400	顕微鏡	3台	1,401	☆印刷機	1台		101,821円
	※ ランドクルーザ (トヨタ)	20台	27,100	CO2解卵器	3台	3,945	☆製版機	1台		45,000円
	20台				高圧滅菌器	3台	1,919	☆ファクス		1台
	付属品	2,710					☆コンピューター	1台		6,800円
	合計	36,044	合計	10,426	合計	416,421円 (833千円)	47,303			

☆現地調達 円換算レート 1元 = 20円 \$1 = 104円

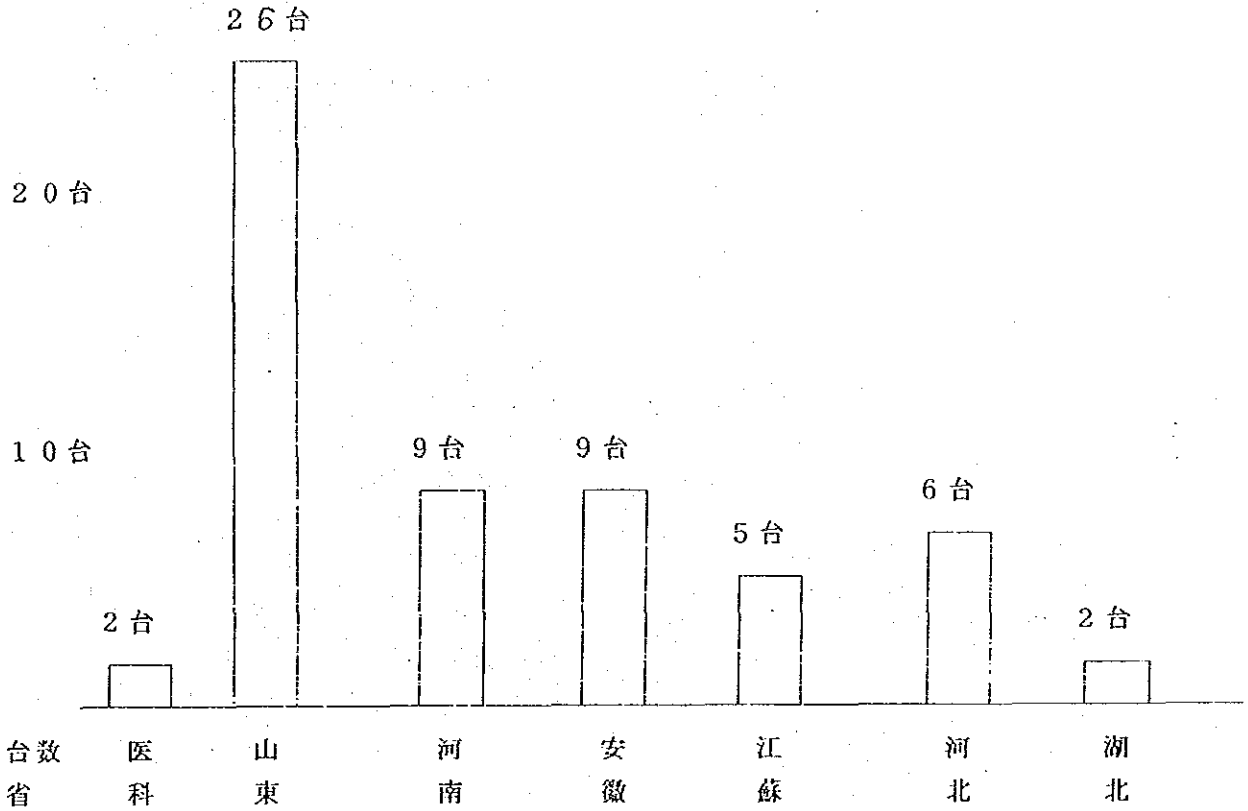
2)

計画 年度	車 両		実験室機材		事務機材		備考 総額 千円
		千円		千円		千円	
92 年度	マイクロバス (ニッサン)  14台	19,976	安全キャビネ ット 1台	2,370	☆印刷機 1台	\$20,000	
			電子秤 1台	215	☆製版機 1台	\$4,150	
			CO2解卵器 1台	2,093	☆コンピュー ター 2台	\$10,66	
			冷凍庫(大小 ) 2台	750	☆レーザープリ ンター 1台	\$5,580	
			恒温水槽 1台	295	☆コピー機 1台	\$3,170	
			超精密恒温水 槽 1台	2,870	☆アンプシス テム 1台	\$2,030	
			温度自記記録 装置 1台	755	☆スピーカー 1台	\$2,170	
			冷却遠心器 1台	1,374	☆プロジェク ター 1台	\$620	
			顕微鏡 2台	891	☆ビデオカメ ラ 1台	\$1,760	
			高圧蒸気滅菌 機(大小) 2台	999	☆ビデオレコ ーダー 1台	\$970	
			乾熱滅菌機 1台	485	☆カメラ 1台	\$700	
			純水製造装置 1台	716			
			冷蔵庫 1台	580			
			合計	14,393	合計	\$60,589 6,301千円	
合計	19,976			40,670			
			総合計		149,254		

J I C A 供与機材省別グラフ  
(1991年度~1993年度)

< 車輛 >

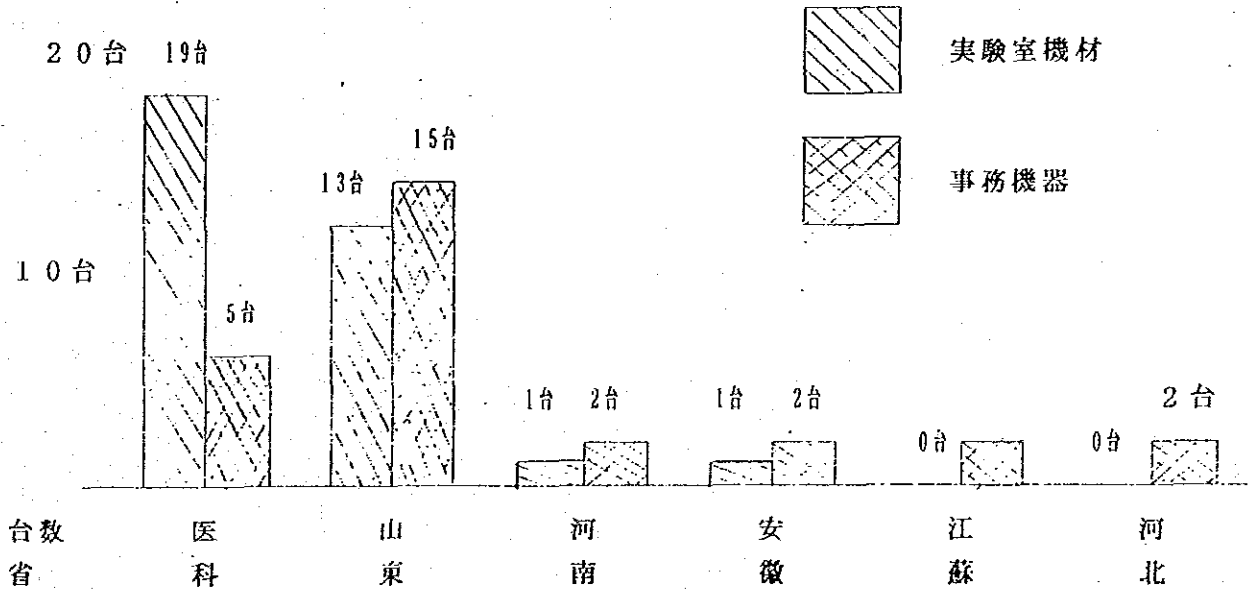
59台



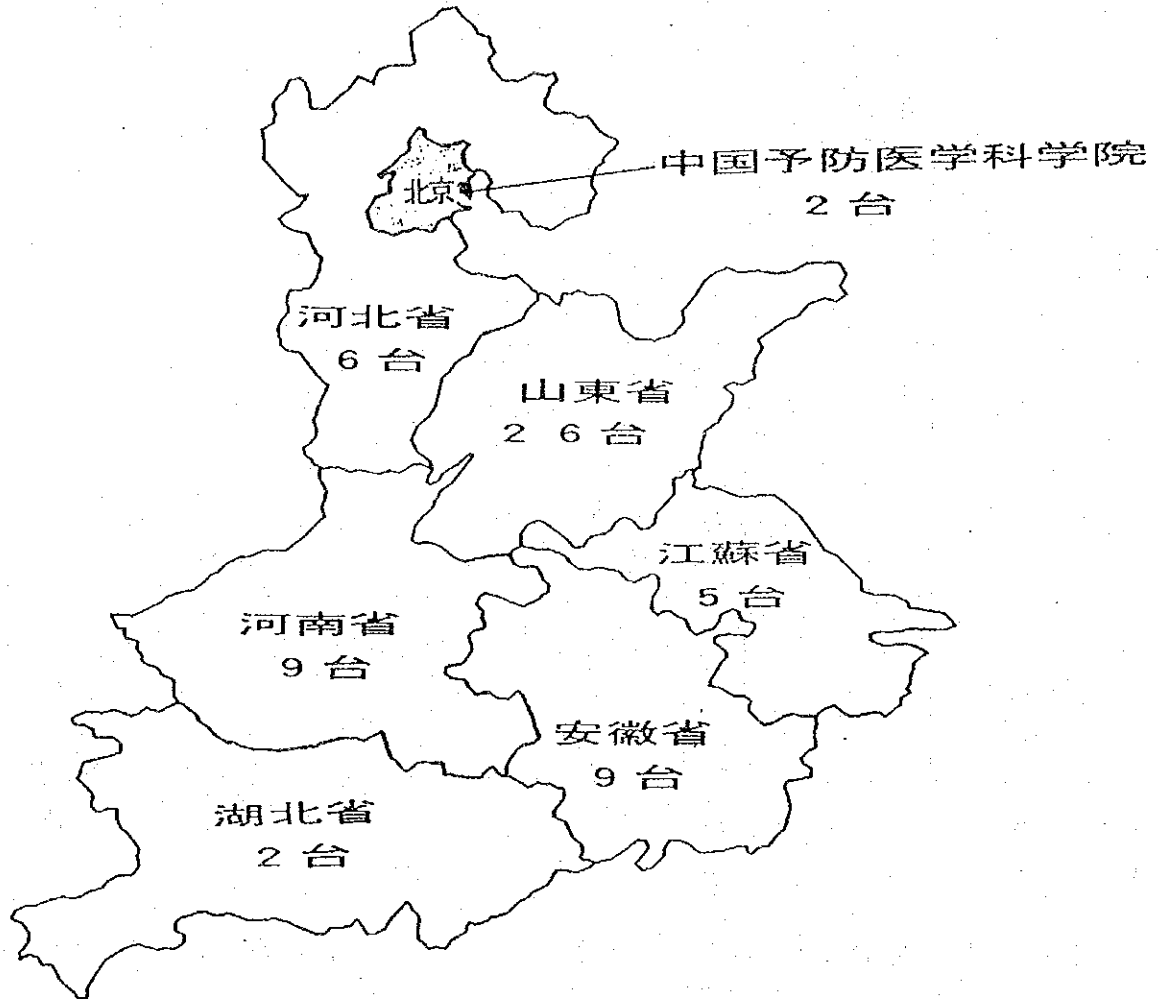
※1993年度供与台数：20台 (各省4台)  
未配車

総台数 79台

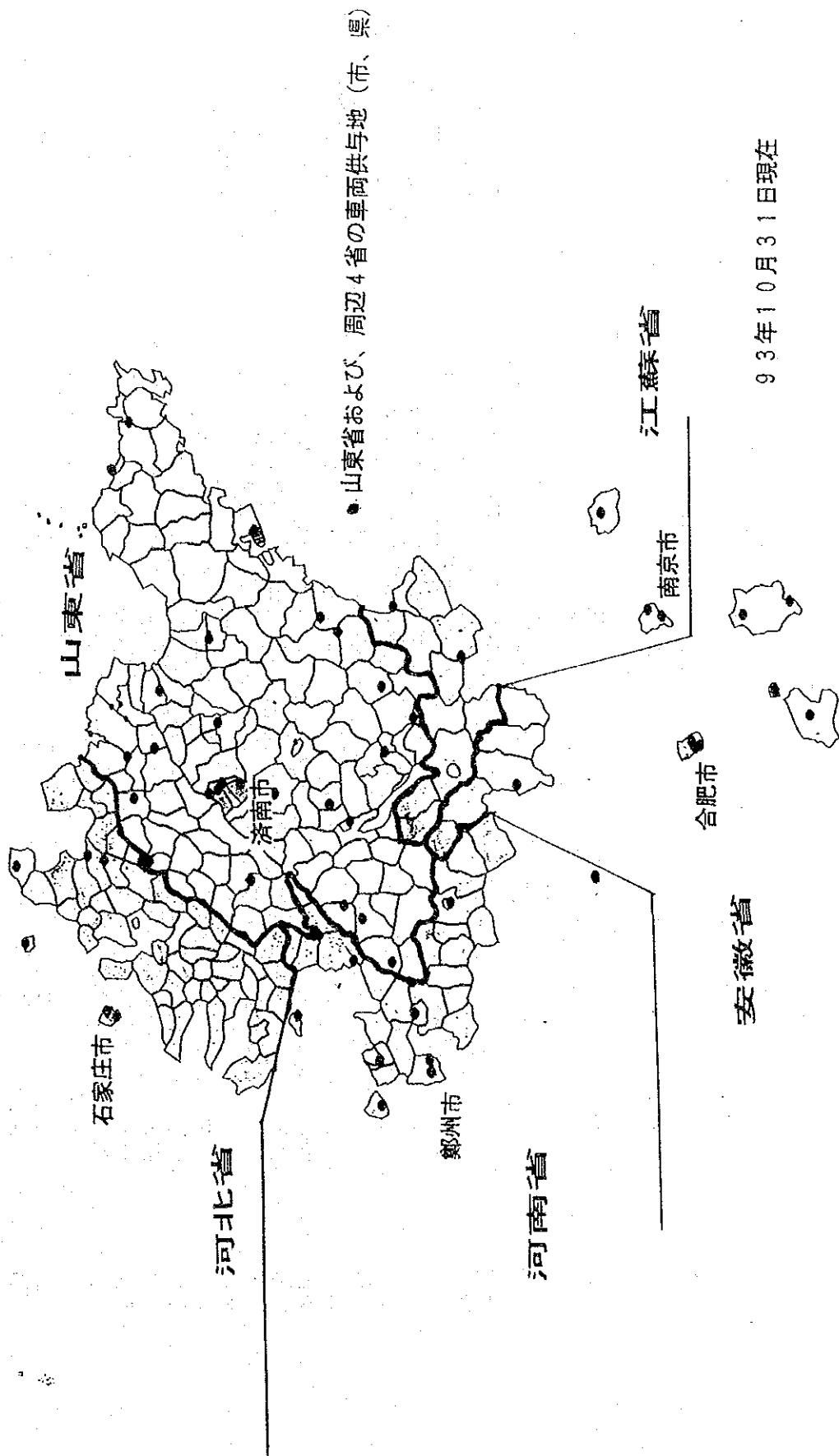
< 実験室機材及び事務機器 >



供与車両分布数  
(感染症対策+プロジェクト)  
1990年度～1992年度



供与車両分布  
 (感染症対策+プロジェクト)  
 1990年度～1992年度



93年10月31日現在

4. 専門家派遣実績

(1) 長期派遣専門家派遣実績 平成2年～5年

月 日	分 野	氏 名	活 動 内 容	派 遣 元
90/11/18~92/12/25	サーベイランス/リーダー	千葉靖男	山東省防疫センターに常駐し、サベールランス体制の確立とポリオ多発地帯への巡回サーベランスを実施してEPI活動の指導を行なった。	国立病院医療センター
90/11/29~91/11/28	サーベイランス	浦部大策	同 上	聖マリア病院
91/11/18~92/12/16	サーベイランス	嶽崎俊郎	同 上	鹿児島大学
92/5/18~	ウイルス診断	原 稔	中国予防医学科学院ウイルス研究所においてポリオ診断のナショナル・ラボの強化と、ラボネットワークの確立、ポリオ感染症の解明の指導を行なっている。	—
92/3/9~	業務調整	山本雄子	中国予防医学科学院ウイルス研究所内プロジェクトオフィスの設置。プロジェクト業務の調整。	国際協力サービスセンター
93/2/25~95/2/24	サーベランス	西村裕一	山東省防疫センターに常駐、山東省及びその周辺4省のサーベランス活動に従事すると共にEPIの指導を行なった。	(財) 国際保健医療交流センター
93/4/19~95/4/18	リーダー	楠本一生	同 上	厚生省国立病院医療センター

短期専門家派遣実績 平成3年度

月 日	分 野	氏 名	活 動 内 容	派 遣 元
91/6/23~7/7	臨床診断	山本悌司	山東省ポリオ多発地域において急性弛緩性麻痺患者を診察。患者の分類をおこなった。また省トレーニングコースにおいて講義を行った。	福島県立医科大学
同上 91/9/11~10/9	同上 ウイルス学	南 良二 萩原昭夫	同 上 山東省衛生防疫センターにおいてポリオウイルス実験室診断の技術指導を実施した。	国立療養所八国立予防衛生研究所
同上	同上	藤原 卓	同 上	同 上
91/10/9~10/19	臨床診断	山本悌司	山東省ポリオ多発地帯にて急性弛緩性麻痺患者を診察。臨床診断指導を行なった。	福島県立医科大学



(2)

## 短期専門家派遣実績

平成4年度

月 日	分 野	氏 名	活 動 内 容	派 遣 元
92/4/28~5/9	臨床診断	山本 悌 司	山東省トレーニングコースにおいてポリオ麻痺についての講義を行うと共に、青島にて疑診患者の診察にあたった。	福島県立医科大学
同 上	同 上	南 良 二	山東省トレーニングコースでポリオ麻痺のリハビリテーションについて講義を通じて指導を行った。	国立療養所八雲病院
92/8/17~8/29	サーベイランス	帖佐 徹	山東省にてにおいて、巡回サーベランと臨床診断を実施、EPI活動の実態調査と指導にあたる。	国立病院医療センター
92/10/5~11/14	サーベイランス	楠本 一生	同 上	同 上
92/11/8~11/22	ウイルス学	米山 徹 夫	北京ナショナル ラボに於いてPCRの、技術指導に従事。山東省衛生防疫センター ポリオ診断実験室にてウイルスの分離、同定の技術指導にあたる。	国立予防衛生研究所
92/11/8~12/7	ウイルス学	藤原 卓	同 上	同 上
92/11/22~12/7	同 上	橋戸 円	山東省衛生防疫センターにてポリオ診断実験室にてウイルスの分離、同定の技術指導にあたる。	同 上
92/11/15~11/21	臨床神経学	山本 悌 司	山東省にて、巡回サーベイランスに参加、疑診患者の診察を行った。	福島県立医科大学神経内科
92/12/3~93/1/11	サーベイランス	浦部 大 策	山東省にて巡回サーベイランスを実施EPI活動の指導にあたる。	聖マリア病院
92/12/23~93/1/8	サーベイランス	西村 裕 一	同 上	(財)国際保健医療交流センター
93/4/1~5/11	サーベイランス	千葉 靖 男	山東省第3回ポリオ サーベイランスセミナー参加。山東省、河南省にて巡回サーベランスの指導にあたる。	国立病院医療センター
93/2/15~3/12	サーベイランス/ チームリーダー	浦部 大 策	チームリーダーとして山東省に赴任。中堅技術者養成対策費にかんし衛生部と折衝した。	聖マリア病院
93/4/3~5/27	ウイルス学	西尾 治	河南省及び山東省衛生防疫センターにて、ウイルス分離、同定の技術指導にあたる。	愛知県予防衛生研究所

(3)

## 短期専門家派遣実績

平成5年度

月日	分野	氏名	活動内容	派遣元
93/4/1 9~4/30	臨床診断	山本 悌司	山東省第3回ポリオサーベイランスセミナー参加、5省の病院医師を対象にして臨床指導を行った。	福島県立医科大学 神経内科
93/4/ 19~5/ 15	臨床診断	斉藤 佐	山東省第3回ポリオサーベイランスセミナーに参加、講演を行った。河南省に赴き臨床診断の技術指導にあたった。	福島県立医科大学
93/6/ 21~7/ 19	ウイルス学	吉井孝男	山東省衛生防疫センターポリオ診断実験室でウイルス分離、同定の技術指導にあたった。	国立予防衛生研究所
93/7/ 26~8/2 3	サーベイランス	疋田和生	山東省内の巡回サーベイランスに参加EPI活動の指導にあたった。	国立病院医療センター
93/10/ 11~11/ 15	ウイルス学	宮村紀久子	江蘇省衛生防疫センターポリオ診断実験室でウイルス分離、同定の技術指導にあたった。	国立予防衛生研究所
				以上

## 5. カウンターパート研修実績と成果

### 研修員の帰国後の調査

#### 1) 王 釗

(1993年11月1日現在)

氏名	英 文	性 別	生 年 月 日 ( 年 齢 )		所 属 先 ( 赴 日 研 修 前 )
王 釗	Wang Zhao	女	1940年11月15日 (52才)		衛生部衛生防疫司
研修後所属先	職 位	担 当 ( 研 修 前 )	担 当 ( 研 修 後 )	研 修 所 属 先	
研修前と同様	副司長	行 政 管 理	行 政 管 理	国立予防衛生研究所他	

研修期間：1993年3月8日から1993年3月21日まで

#### 1. 研修の評価

日本国国際協力事業団の行き届いた準備のお陰で日本における研修活動は順調でした。計画も周到で視察内容も全面的に豊富でした。さらに私と高傳堂さんが担当している、行政管理の業務に合致し、目標が明確で、ねらいも正確に当たっておりました。

蟻田功先生や専門家、多くの機関、団体が多くの新しい予防、治療研究の状況と経験を紹介していただき、国内の業務の改善、強化するのに非常に役立つと思いました。

その他、多くの接触を通じて、日本の専門家、専従員との理解と友情を深め、今後、協力関係を更に発展させることに役立つでしょう。

#### 2. 研修中における問題

言葉が通じなかったため、日本側は専門の通訳をつけてくれましたが( どうもありがとうございました)、関係問題について更に突っ込んで討議する場合、時折意志疎通には限界があり、学習と交流を深めるのに影響があったかもしれません。

#### 3. 現在の職務

- ・全国計画免疫とポリオ根絶事業及び国際協力プロジェクト
- ・他の伝染病、寄生虫予防の管理

## 2) 高傳堂

(1993年11月1日現在)

氏名	英 文	性 別	生 年 月 日 ( 年 齢 )		所 属 先 ( 赴 日 研 修 前 )
高傳堂	Gao Chan Tang	男	1933年 6月26日 (59才)		山東省衛生庁副庁長
所 属 先 ( 研 修 後 )	職 位	担 当 ( 研 修 前 )	担 当 ( 研 修 後 )	研 修 所 属 先	
1993年 6月退職	なし	公衆衛生行政	な し	国立予防衛生研究所他	

研修期間：1993年3月8日から1993年3月21日まで

ポリオ対策プロジェクトの担当業務を王文芳、山東省衛生庁副庁長に引き継ぎ、  
1993年 6月26日退職

## 3) 張礼壁

(1993年11月1日現在)

氏名	英 文	性別	生年月日(年齢)	所属先(赴日赴日研修前)
張礼壁	Zhang Li Bi	男	1933年 9月20日(59才)	中国予防医学科学院病毒学研究所国家科 診断センター
研修後所属先	職 位	担当(研修前)	担当(研修後)	研修所属先
研修前と同様	主 任	ウイルス学教授	ウイルス学教授	国立予防衛生研究所他

研修期間：1993年8月28日から1993年10月1日まで

## 1. 研修の評価

今回の研修は初期の目標を達成したと思う。日本側の専門家と専従院の熱心な援助のもとに我が国のポリオⅡ、Ⅲ型ワクチン株の性質(遺伝子一部配列分析)等、差し迫った問題を解決いたしました。今後、我が国のポリオ抑制と根絶に重要な作用を及ぼすことと信じています。

## 2. 研修中における問題

今回の研修の目的は中国においてポリオウイルスRNA配列分析を一步一步展開することです。時間を2週間延ばすことができればより理想的です。この他、私の率直な意見を別添に付け加えます。

## 3. 現在の職務

ポリオナショナルラボの組織と指導の際協力プロジェクト

- (1) 省レベルポリオ実験室に対して技術コンサルタントと技術トレーニングコースを行う。
- (2) 一部省、市レベル実験室のウイルス分離実験への協力。
- (3) 必要があれば、省レベル実験室から分離したウイルス株を再び同定する。
- (4) 省レベル実験室の分離株に対して型内鑑別を行う。
- (5) 毎年一回省レベル実験室を対象に技術レベルテストを行う。
- (6) 各省レベル実験室資料統計、報告業務等

## 研修中における問題について

1・研修後、習得した専門知識を実際の仕事で活用できる為、また西太平洋地域のポリオ根絶事業を促進する為、研修員について派遣前に専門家が面談することを提案する。こうすれば、推薦した研修員は真に当プロジェクトの専従人であること、また研修の目的も明らかになり、帰国後学んだことを活用できることになる。不適当な人については、専門家が研修生の変更をすることを希望します。

2・日本国立予防衛生研究所ウイルス第二部は西太平洋地域にポリオ・レファレンスラボです。全地域ポリオ実験室の監督業務を行っている。技術上既に相当なレベルを総もっている。例えば、ポリオに感受性のあるトランスジェニックマウスの毒力試験は日本のポリオ毒力サーベランスにとって大きな貢献をしている。技術員は僅か5人で、足りないと思う。技術員を増加して、仕事量を増やし、西太平洋地域各国の需要を満たせるよう提案する。

3・西太平洋地域がNIHに設立したポリオレファレンスラボ、当地域内の技術レベルに応じて計画的に技術訓練を実施することを希望する。専門家派遣を通じて指導、あるいは技術人が日本NIHへ赴き訓練を受けることによって各国の技術レベルを引き上げることが望ましい。

4・日本NIHポリオレファレンスラボは定期的、あるいは不定期に各国の関係ラボの状況をお互いに了解し、新しくてかつ実用的な方法を紹介し、即ち通信（あるいは書面）手段を用いて、各国の実験室の仕事を指導し、経験を交流することを提案する。

5・西太平洋地域の各国の実験室の連絡と交流を強化するため、日本NIHポリオ実験室は定期的に関係実験室の討論会を招集することを提案する。

6. 中堅技術者養成対策セミナー／サーベイランス関連研修実績

1993年中堅技術者養成セミナー一覽表（中国とJICA協力）

中堅技術者養成対策費

1993年11月5日 (1)

セミナー名称	目的	時間	人数	場所	養成対象者	費用分担	中国/JICA
1. 第2回5省ポリオ根絶 聯防會議	(1) 1992年度5省ポリオ根絶聯防 の現状 (2) 聯防事業の進捗の分析及び来年度の 聯防事業計画の決定	93年6月25日～ 5月29日	100人	秦皇島	5省衛生行政局長、防疫所長 省及び一部郡地区、県E.P.S.主任セ ンター、専任員	11,920元/47,840元（実施済）	
※ 2. 全国ポリオ実験室診断技 術員セミナー	(1) 1992年実験室技術レベル試験 の問題点の総括 (2) 点検優秀実験室の活動経験を紹介 (3) 1992年技術研修問題点及び解決 方法の検討	94年2月未～	40人	未定	各省ポリオ実験室技術員	10,116元/40,472元（予定）	
3. ポリオ疫学サーベイラン ス患者情報セミナー	(1) 中国及び世界のポリオ根絶活動報 告 (2) ポリオ根絶の為に取るべき監督 及びその把握についての学習 (3) 中国におけるサーベイランスステ ムの普及紹介とポリオ根絶活動、サーベ ランス評価及び各種報告書の記載法に ついて学習	94年3月	80人	未定	5省聯防の省レベルE.P.S.主任専任員 92年、93年ポリオ多発地区の省レベル 主任専任員、JICA他国際支援団体の客 員、専門家	20,282元/80,970元（予定）	

※93年5月既にユニセフの援助で実施済み。JICAの養成対策費が間に合わなかったため、93年度は同セミナーを2回開催することになっ  
た。2回目は94年2月～3月にかけて実施を予定している。

現地セミナー開催費

(2)

セミナー名称	目的	時間	人数	場所	養成対象者	JICA負担額
1. 第3回山東省ポリオ根絶トレーニングコース	(1) 全国ポリオ根絶進捗状況の報告及び感染者報告システム活動原則の紹介 (2) 山東省サーベイランス改善点について報告 (3) ポリオ患者臨床診断及び鑑別診断について学習	93年4月23日～ 4月27日	172人	山東省済南	5省地区の主要医療従事者報告 専従者、同衛生局医政科及び 防疫科科长、同計画免疫科専任員 JICA専任、中国専門家	61,200円 ※一部中国側負担



# 巡回サーベイランス・AFP症例病院調査結果

山東省衛生防疫センター・計画免疫科ポリオサーベイランスセンター  
JICA 中国ポリオ対策プロジェクト

1993年4月～1993年9月

月	省レベル病院				市レベル病院				県レベル病院						
	病院名	92年(一年分)		93年、調査日迄		病院名	92年(一年分)		93年、調査日迄		病院名	92年(一年分)		93年、調査日迄	
		記録上	未報告	記録上	未報告		記録上	未報告	記録上	未報告		記録上	未報告	記録上	未報告
4					済寧市人民医院 萊州市人民医院	0 5	0 5	0 2	0 2	新蔡市人民医院 東平県人民医院	1 1	1 1	1 0	1 0	
5					荷州市中心医院 淄博市中心医院 日照市人民医院	7 1 1	5 0 0	0 0 2	0 0 2	高青県人民医院	0	0	0	0	
6					德州地区中医医院 德州地区人民医院	0 3	0 1	0 2	0 1	寧津県人民医院 武城県人民医院	0 0	0 0	0 0	0 0	
7	濱州医学院附属医院	1	1	1	0	9	0	0	0	聊城市人民医院 辛泉人民医院 冠県人民医院 陽信県人民医院 東營市人民医院	0 1 6 2 0	0 1 6 2 0	0 1 5 2 0	0 1 0 2 0	
8	濟寧医学院附属医院 泰安医学院附属医院	1 1	1 0	3 0	2 0	18 5	0 4	3 15 10	2 0 5	濰州地区人民医院 濰寧市人民医院 泰安地区人民医院	0 1 3 0	0 0 3 0	0 0 1 0	0 0 1 0	
9	青島医学院附属医院 潍坊医学院附属医院	7 0	6 0	6 1	2 1	1 15 5 2 1 3 12 0 0	1 15 5 2 0 3 12 0 0	0 5 6 0 1 0 8 0 0	0 5 6 0 0 0 0 0 0	萊蕪市人民医院 沂水市中心医院 臨沂地区人民医院 臨沂地区兒童医院 青島市伝染病医院 濰州市中心医院 潍坊市人民医院 潍坊市第二医院 婦幼保健院	1 1	0 1	0 0	0 0	
合計		10	8	11	5	93	64	55	24		15	15	10	2	

## 1992/1993 年サーベイランス関連研修実績（省レベル以上）

93年11月15日作成

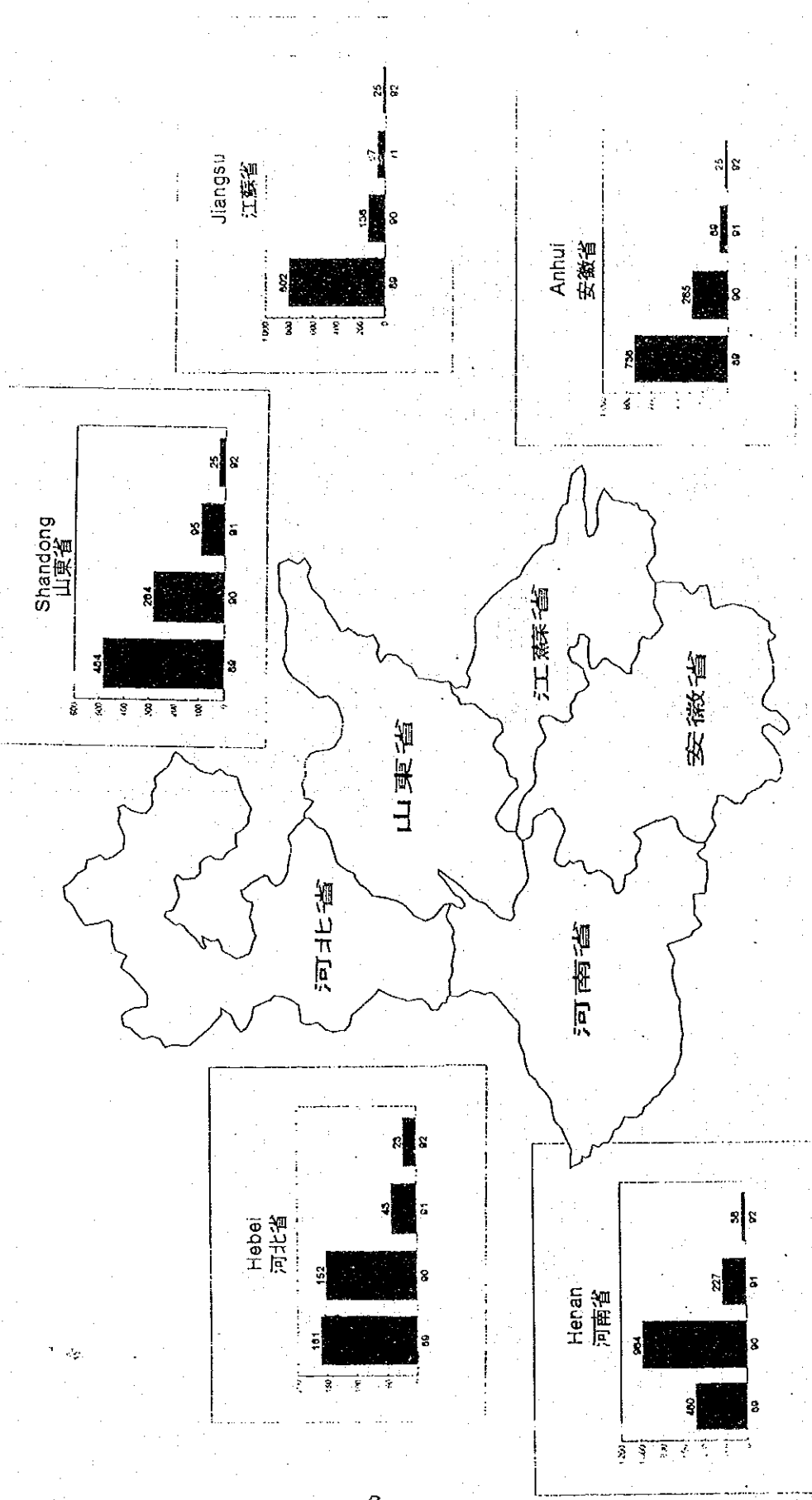
年月月	セミナー名	開催地	対象	参加 人員	内容	対応専門家
93/4	山東省ポリオ 根絶セミナー	済南市	山東省 地区・県レベル	100	主催 講義	楠本・千葉 山本・斉藤・西村
93/6	安徽省ポリオ 根絶セミナー	合肥市 (安徽省)	安徽省 地区・県レベル	120	講義	西村
93/6	5省連防ポリオ 根絶会議	秦皇島市 (河北省)	5省 隣接地区レベル	150	主催 講義	楠本・原 西村
93/9	河北省ポリオ 根絶セミナー	邯鄲市 (河北省)	河北省・隣接 地区・県レベル	50	講義	楠本
93/9	河北省ポリオ 根絶セミナー	保定市 (河北省)	河北省 地区・県レベル	60	講義	楠本・西村
93/10	安徽省ポリオ 根絶セミナー	黄山市 (安徽省)	安徽省 地区・県レベル	80	講義	楠本・西村
93/10	河南省一斉 投与セミナー	鄭州市 (河南省)	河南省 地区・県レベル	80	講義	楠本・西村
93/11	山東省ポリオ 根絶会議	済南市	山東省 地区レベル	70	講義	楠本・西村

1992/1993 年サーベイランス関連研修実績（地区レベル以下）

93年11月15日作成

年月	セミナー名	開催地	対象	参加人員	内容	対応専門家
93/1	武城県一斉投与研修コース	武城県 (濰澤市)	郷・鎮 防疫人員	60	講義	浦部・西村
93/2	(臨時)	藤州市 (棗庄市)	病院医師	100	講義	浦部
93/6	(臨時)	德州市	德州地区 防疫站職員	40	講義	西村
93/9	(臨時)	膠州市 (青島市)	膠州市 防疫站職員	20	講義	楠本・西村
93/9	(臨時)	淮坊市	淮坊市 防疫站職員	20	講義	楠本・西村

# Confirmed POLIO Cases 1989-1992 5 Provinces in CHINA



# Confirmed POLIO Cases 1989-1992 5 Provinces in CHINA

